

尾道市総合計画 基礎調査 (概要版)

令和8年5月

目次

I 社会・経済潮流

1.人口減少・少子高齢化の加速	p3
2.経済・産業環境の変化	p3
3.外部環境の不確実性・リスクの顕在化	p4
4.ライフスタイルや価値観の多様化	p5
5.地球環境への対応	p6
6.デジタル化・DXの加速	p6
7.行政運営の効率性・柔軟性	p7

II 尾道市の概況

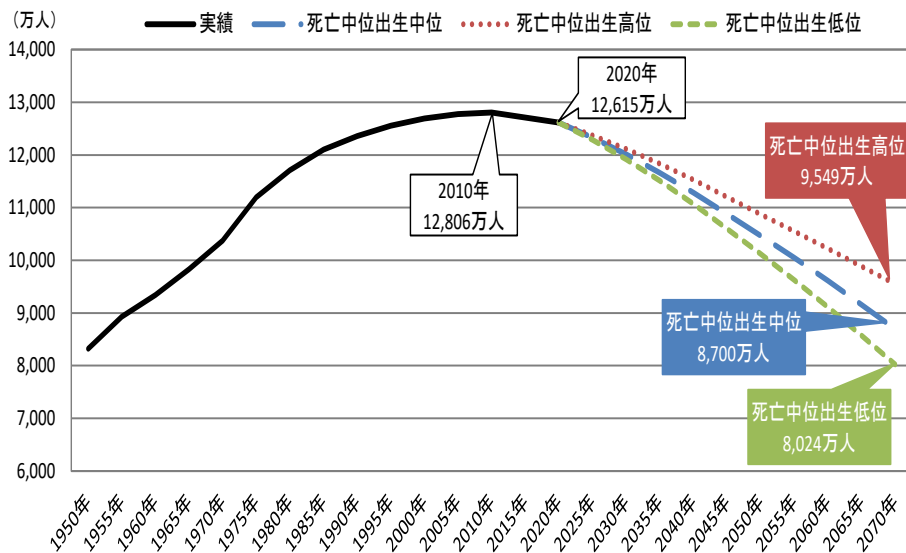
1.位置・土地面積	p8
2.人口・世帯数	p9
3.交通ネットワーク	p18
4.産業構造	p20
5.市内総生産	p22
6.工業	p23
7.商業	p24
8.農林水産業	p25
9.観光	p27
10.子育て	p29
11.教育	p30
12.文化・スポーツ	p32
13.生活環境	p33
14.医療	p35
15.福祉	p37
16.健康づくり	p38

I 社会・経済潮流

1. 人口減少・少子高齢化の加速

- 我が国の人口は2008年（平成20年）をピークに減少し、少子高齢化、人口減少がさらに加速する見通し
- 2023年（令和5年）こども基本法のもと、少子化対策やこどもの貧困対策、児童虐待対策等を推進
- 外国籍住民は、近年、増加傾向にあり、多文化共生社会に向けた意識の醸成や環境整備が求められる

我が国の人口の推移と長期的な見通し

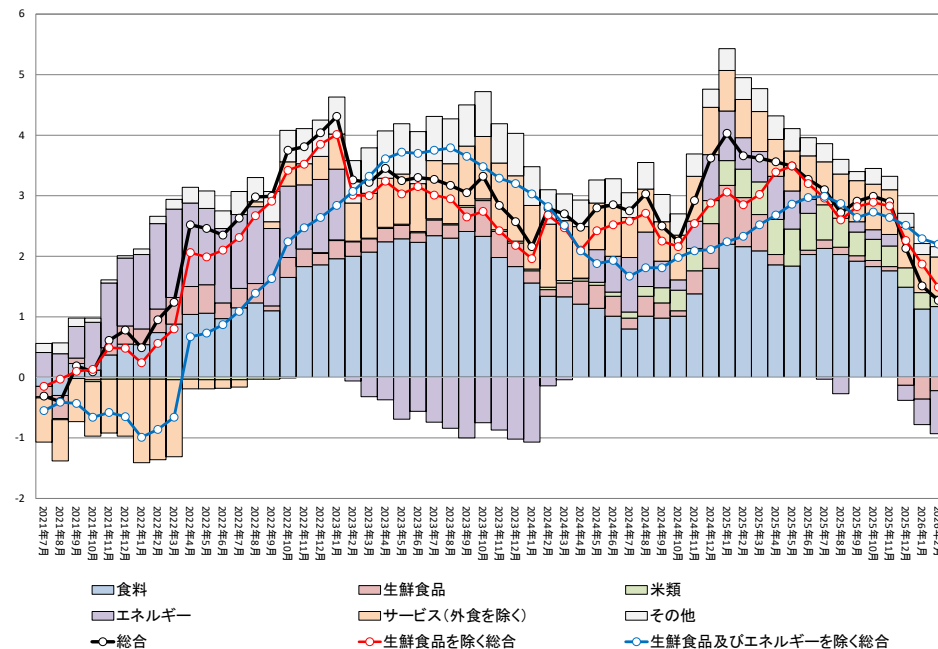


(資料) 総務省「国勢調査」、国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口（令和5年推計）：出生中位・死亡中位推計」

2. 経済・産業環境の変化

- ウクライナ危機や中東情勢の不安定化に伴うエネルギー価格の高騰、円安の進行、物価上昇などが国内経済に新たな課題をもたらす
- 賃金上昇と働き方改革
- インバウンドの増加と訪日外国人消費による経済効果
- 「日本成長戦略」、「地方創生2.0基本構想」により、「強い」経済と「豊かな」生活環境等を発展させる

物価の推移

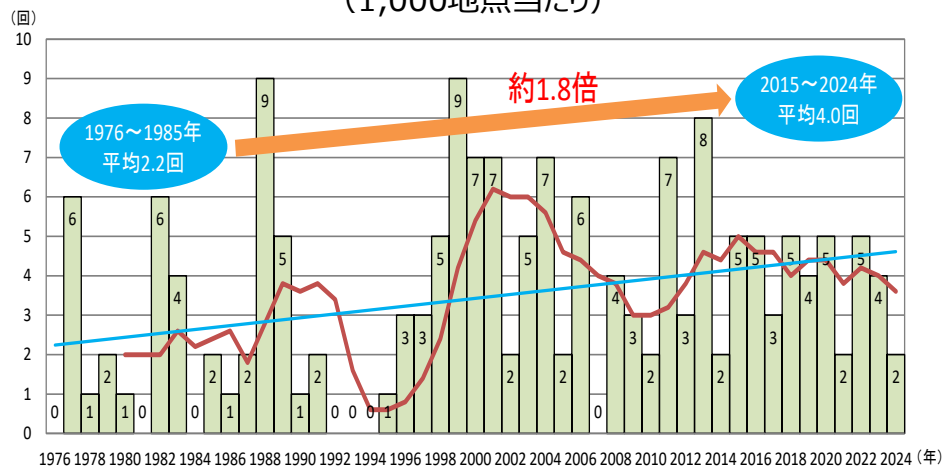


(資料) 総務省「消費者物価上昇率」

3. 外部環境の不確実性・リスクの顕在化

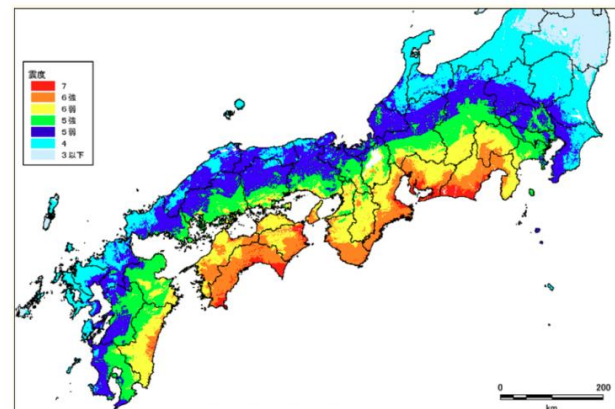
- 近年、気候変動の影響等により、局地的な集中豪雨などの気象災害が頻発し、全国各地で甚大な被害が発生
- コロナ以降、国際情勢・供給チェーンの乱れ、エネルギー・食料安全保障などが「想定外リスク」として注視される
- 自然災害の頻発や、今後30年以内に発生する確率が60～90%程度とされる南海トラフ巨大地震など、単なる“将来リスク”ではなく「現在進行中の問題」として扱われている

全国の1時間降水量100ミリ以上の年間発生回数
(1,000地点当たり)

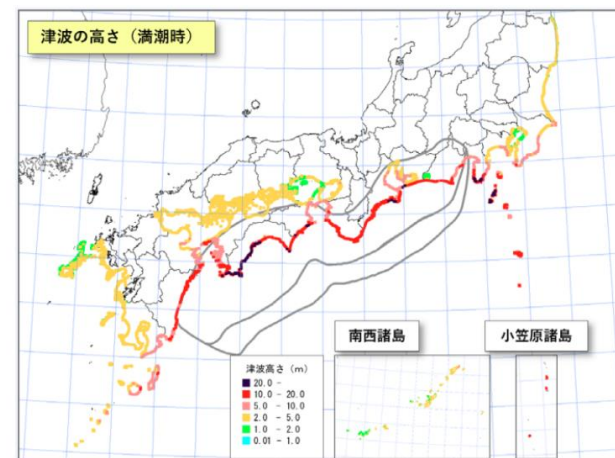


(資料) 気象庁HP「気候変動ポータル 大雨や猛暑日など(極端現象)のこれまでの変化」

南海トラフ巨大地震の震度分布



南海トラフ巨大地震の津波高



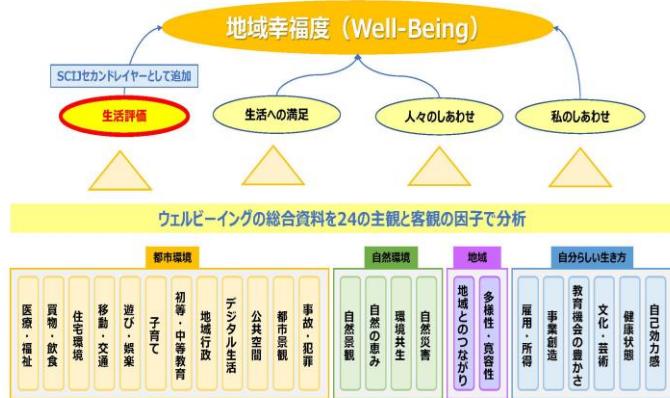
(資料) 気象庁HP「南海トラフ地震で想定される震度や津波の高さ」

4. ライフスタイルや価値観の多様化

- ウェルビーイング（心身ともに健康で、社会的なつながりも含めて、個人的に幸福で充実した状態）の重視
- 単身世帯や高齢者世帯、共働き世帯の増加など、家族の状況や社会環境の変化により、ライフスタイル、価値観、ニーズが多様化
- 人生100年時代（子どもから高齢者まで活躍する時代）

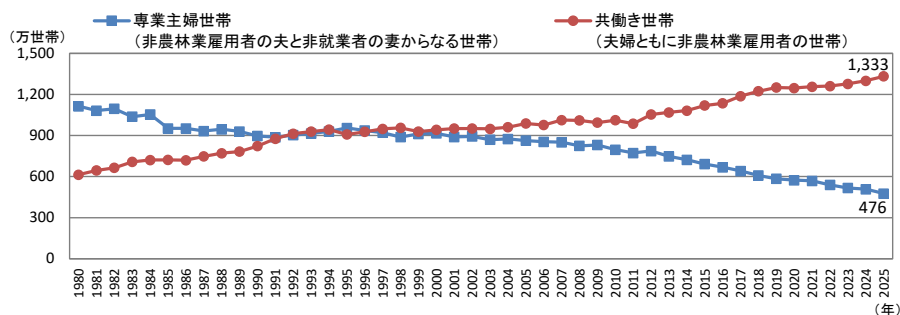
地域幸福度指標

GDWを意識して追加した「生活評価（人生評価）」は、既存の地域幸福度（Well-Being）指標の構造を充実させ、国際比較可能性を増す方向へ



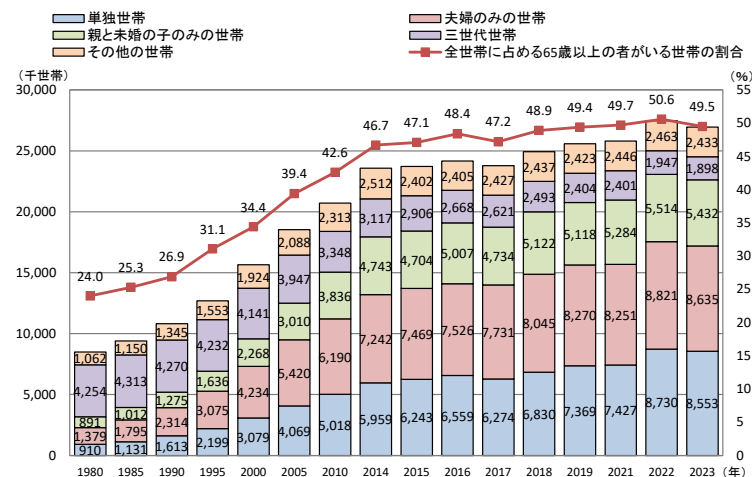
(出典) 一般社団法人スマートシティ・インスティテュート「地域幸福度（Well-Being）指標」

専業主婦世帯数、共働き世帯数の推移



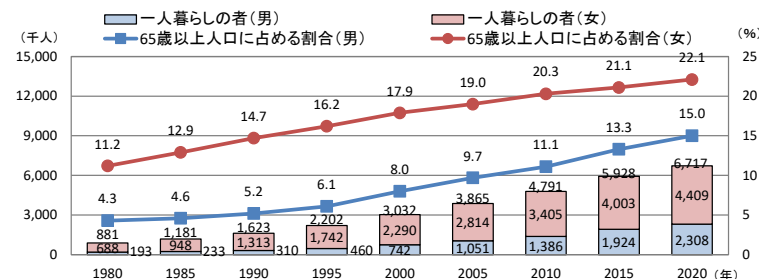
(資料) 独立行政法人労働政策研究・研修機構「早わかり グラフでみる長期労働統計」

65歳以上の者のいる世帯数と全世帯に占める65歳以上の者がいる世帯の割合



(資料) 内閣府「令和7年版高齢社会白書」

65歳以上の一人暮らしの者の動向



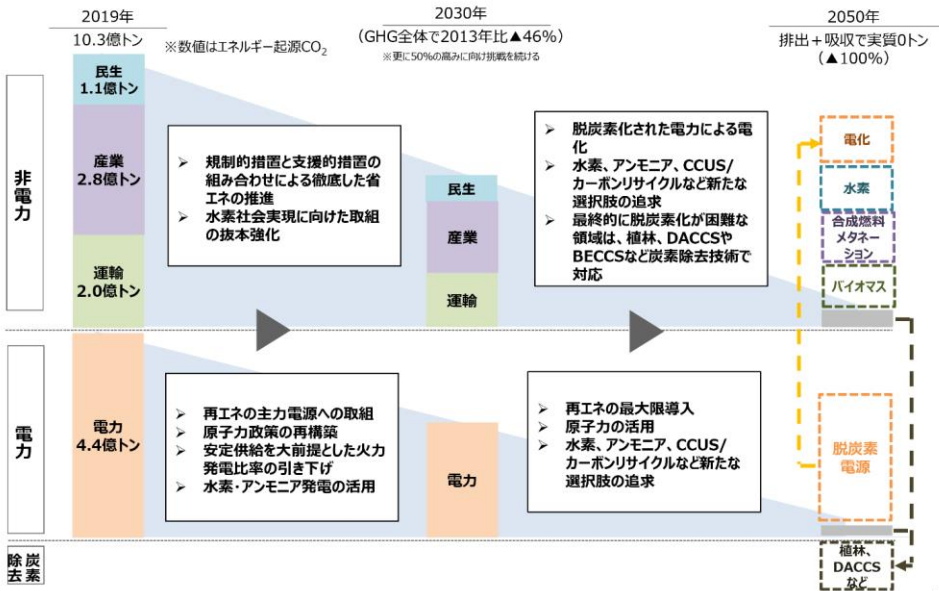
(資料) 内閣府「令和7年版高齢社会白書」

I 社会・経済潮流

5. 地球環境への対応

- 地球温暖化、海洋プラスチックごみ汚染などが大きな地球環境問題として顕在化
- カーボンニュートラルの実現に対する国際社会からの要請の高まり
- 日本では、「グリーン成長戦略」や「GX（グリーントランスフォーメーション）推進法」などを通じて、エネルギー・産業構造の転換を加速

2050年におけるカーボンニュートラル達成のイメージ

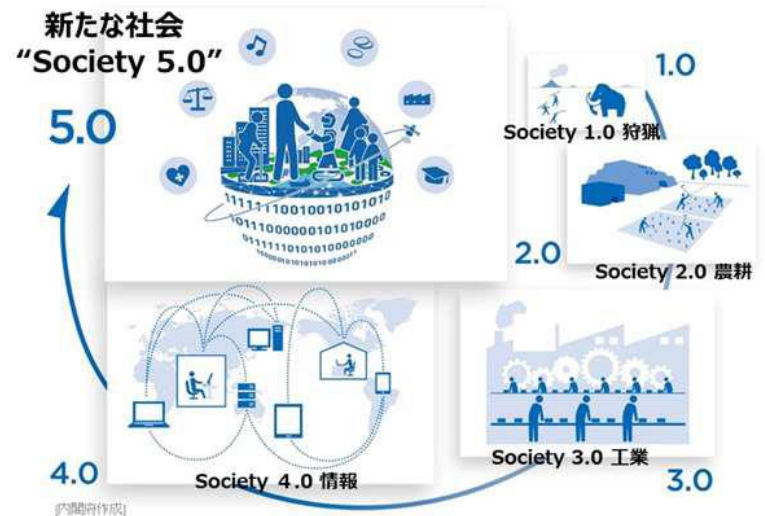


(資料) 経済産業省「2050年カーボンニュートラルに伴うグリーン成長戦略 2050年カーボンニュートラルに伴うグリーン成長戦略（概要資料）」

6. デジタル化・DXの加速

- 情報端末の普及によるインターネット利用率の上昇
- 社会的なコミュニケーション基盤としてのSNSの普及
- 情報格差の広がり、情報セキュリティの確保などの課題への対応
- 生成AIなどの先端技術をまちづくりに取り入れることで、市民生活の質向上、都市活動の効率化、環境負担の軽減を図る

Society 5.0への発展イメージ

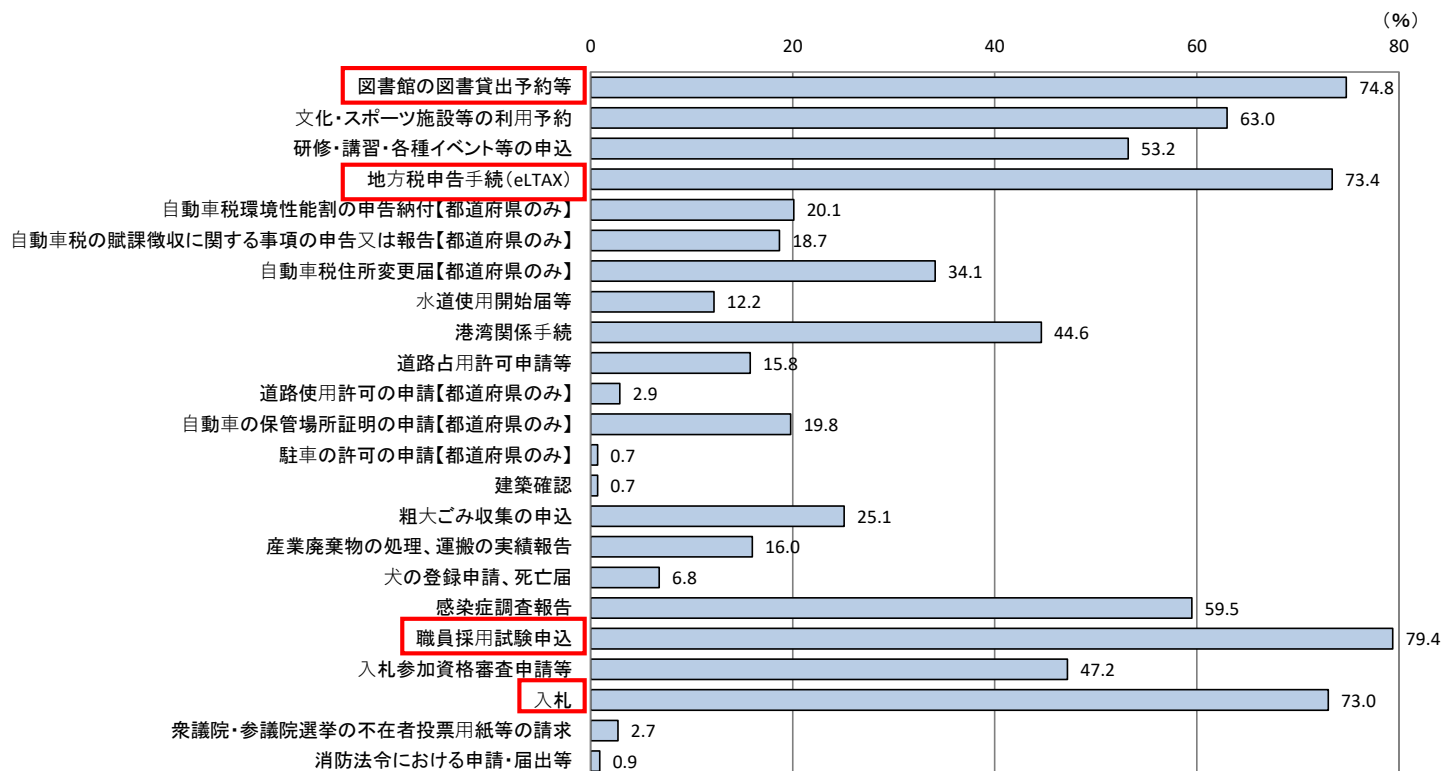


(資料) 内閣府・総務省・経済産業省・国土交通省 スマートシティ官民連携プラットフォーム事務局「スマートシティガイドブック」

7. 行政運営の効率性・柔軟性

- 行財政改革や自治体DX対応により、住民サービスの向上とともに、行政事務の効率化を図る
- 企業や他の自治体等と、協力・補完し合いながら、持続可能な都市経営を推進

行政手続きのオンライン利用率 2022年度（令和4年度）



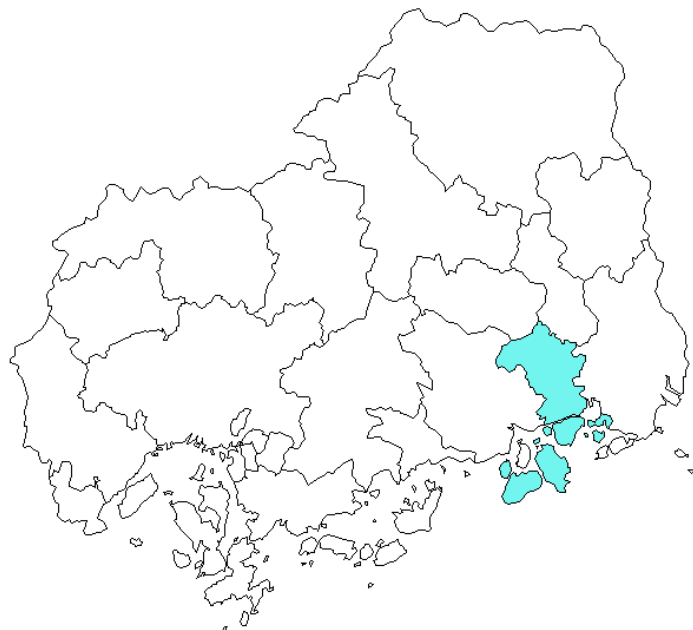
(資料) 総務省「自治体DX・情報化推進概要～令和5年度地方公共団体における行政情報化の推進状況調査の取りまとめ結果～」

II 尾道市の概況 ①位置・土地

尾道市の位置

- 本市は、広島県の南東部に位置し、市の東部は福山市、西側は三原市、北側は府中市と世羅町に接している。市域北部には緑豊かな丘陵地域が広がるほか、中心部は尾道水道に臨み、南部は独特の多島美を有する瀬戸内海国立公園に囲まれるなど、穏やかな気候と多様で豊かな自然に恵まれた地勢にある。

尾道市の位置



尾道市の面積

- 本市の面積は285㎢で、広島県（8,478㎢）の3.4%を占める。

周辺市町の面積（2025年（令和7年））

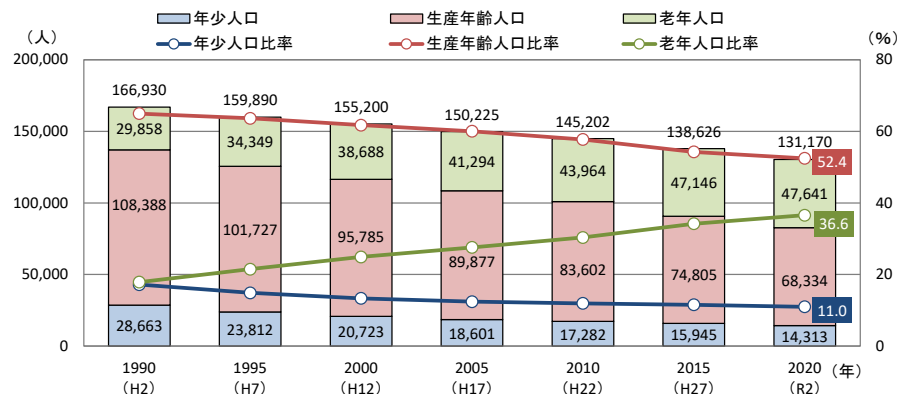
市町名	面積（㎢）	構成比（%）
尾道市	285	3.4
広島市	907	10.7
呉市	352	4.2
竹原市	118	1.4
三原市	472	5.6
福山市	518	6.1
府中市	196	2.3
三次市	778	9.2
庄原市	1,246	14.7
大竹市	79	0.9
東広島市	635	7.5
廿日市市	489	5.8
安芸高田市	538	6.3
江田島市	101	1.2
郡部	1,765	20.8
広島県	8,478	100.0

（資料）国土交通省「令和7年全国都道府県市区町村別面積調（1月1日時点）」

尾道市の人口

- 本市の人口は減少が続いており、2020年（令和2年）は、131,170人となっている。
- 直近の2020年（令和2年）の本市の年齢階層別人口の構成比をみると、年少人口（0～14歳）が11.0%、生産年齢人口（15～64歳）が52.4%、老年人口（65歳以上）が36.6%となっており、年少人口比率、生産年齢人口比率は低下が続き、老年人口比率は上昇している。
- 周辺市町の総人口と比べると、福山市（460,930人）、今治市（151,672人）に次ぐ人口規模となっている。しかし、2015年（平成27年）から2020年（令和2年）の本市の総人口の推移をみると、周辺市町で最多の7,456人減となっている。減少率でみると、2000年（平成12年）以降拡大しており、2020年（令和2年）は5.4%減となった。

尾道市の人口推移



(資料) 総務省「国勢調査」

周辺市町の総人口の推移

【総人口】

	1990年 (H2)	1995年 (H7)	2000年 (H12)	2005年 (H17)	2010年 (H22)	2015年 (H27)	2020年 (R2)	2020年 -2015年
尾道市	166,930	159,890	155,200	150,225	145,202	138,626	131,170	-7,456
三原市	110,524	108,617	106,229	104,196	100,509	96,194	90,573	-5,621
福山市	445,403	453,791	456,908	459,087	461,357	464,811	460,930	-3,881
府中市	52,692	50,356	47,697	45,188	42,563	40,069	37,655	-2,414
世羅町	21,684	20,735	19,690	18,866	17,549	16,337	15,125	-1,212
今治市	191,504	185,435	180,627	173,983	166,532	158,114	151,672	-6,442
広島県	2,849,847	2,881,748	2,878,915	2,876,642	2,860,750	2,843,990	2,799,702	-44,288

(単位: 人)

【5年前比増減率】

	2000年 (H12)	2005年 (H17)	2010年 (H22)	2015年 (H27)	2020年 (R2)
尾道市	-2.9	-3.2	-3.3	-4.5	-5.4
三原市	-2.2	-1.9	-3.5	-4.3	-5.8
福山市	0.7	0.5	0.5	0.7	-0.8
府中市	-5.3	-5.3	-5.8	-5.9	-6.0
世羅町	-5.0	-4.2	-7.0	-6.9	-7.4
今治市	-2.6	-3.7	-4.3	-5.1	-4.1
広島県	-0.1	-0.1	-0.6	-0.6	-1.6

(単位: %)

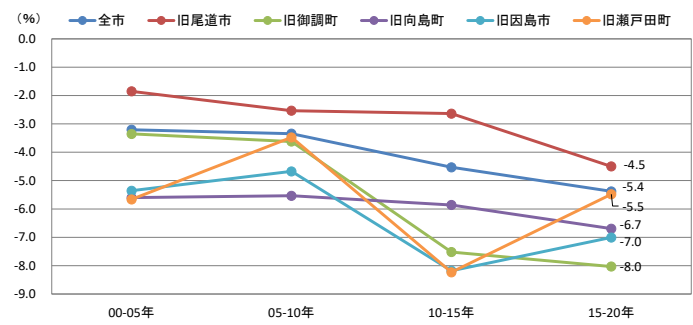
(資料) 総務省「国勢調査」

II 尾道市の概況 ②人口・世帯

地区別人口の変化

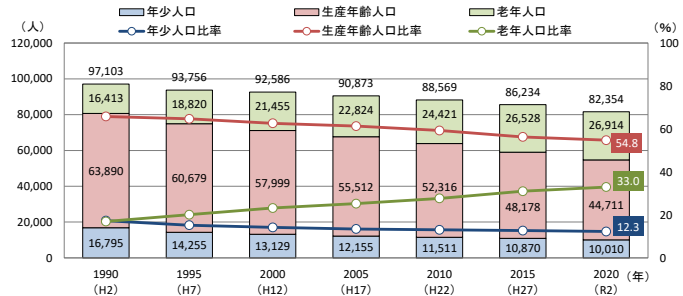
- 地区別の国勢調査人口の変化率を見ると、すべての地区で減少が続いており、旧御調町で特に人口減少となっている。
- 「2010-2015年」から「2015-2020年」の減少率は、旧因島市と旧瀬戸田町で前期間よりも小さく、その他の地区は大きくなっており、減少率が大きくなった地区の中でも旧尾道市の減少傾向が強い。
- すべての地区で、年少人口、生産年齢人口が減少傾向で、老年人口が増加傾向となっている。
- 旧因島市、旧瀬戸田町の島嶼部では、2020年（令和2年）には他の地区よりも老年人口比率が高く、特に旧瀬戸田町は老年人口比率が生産年齢人口比率を超えている。
- 旧向島町は、同じく島嶼部であるものの、他の島嶼部に比べて老年人口の増加が緩やかで、生産年齢人口比率も50%を超えている。
- 中山間地域である旧御調町でも老年人口比率が高く、生産年齢人口比率に迫っている。
- 都市部を含む尾道は、他地域と比べ緩やかではあるが、老年人口比率は増加傾向、生産年齢人口は減少傾向となっており、老年人口1人を生産年齢人口1.7人で支える状況となっている。

地区別人口の変化

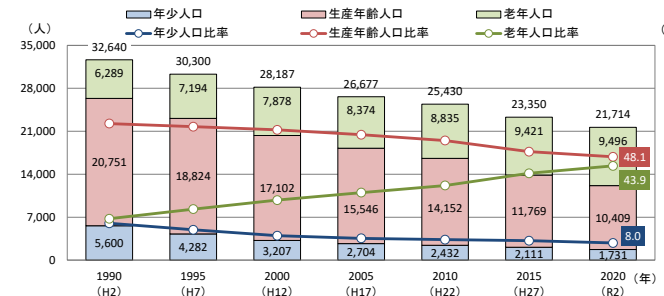


各地区の人口推移

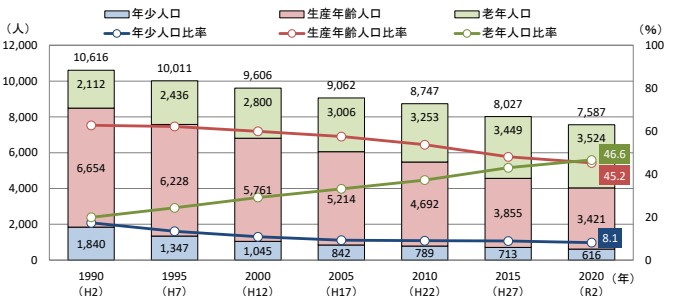
【旧尾道市】



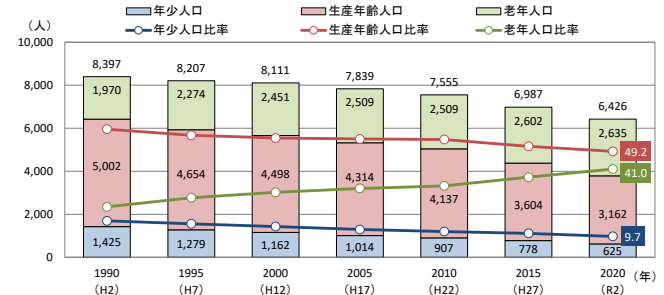
【旧因島市】



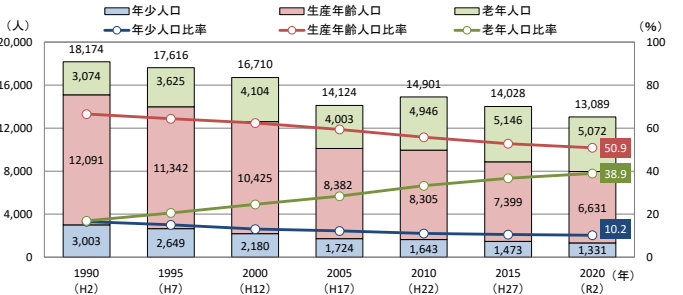
【旧瀬戸田町】



【旧御調町】



【旧向島町】



(資料) 総務省「国勢調査」

II 尾道市の概況 ②人口・世帯

在留外国人数の推移

- 本市の在留外国人数は、概ね増加傾向で推移しており、2024年（令和6年）は4,269人となっている。周辺市町と比較すると、福山市、今治市に次ぐ規模である。

周辺市町の在留外国人数

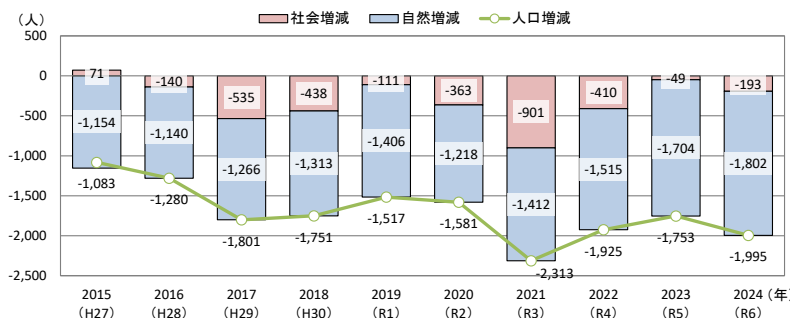
	2015年 (H27)	2016年 (H28)	2017年 (H29)	2018年 (H30)	2019年 (R1)	2020年 (R2)	2021年 (R3)	2022年 (R4)	2023年 (R5)	2024年 (R6)	2023年から2024年 (R5からR6年) の増加率
尾道市	2,103	2,483	2,513	2,714	3,207	3,005	2,621	3,188	3,805	4,269	+12.2%
三原市	1,803	1,988	1,996	2,100	2,384	2,305	2,028	2,292	2,691	3,147	+16.9%
福山市	7,409	8,020	8,765	9,363	10,335	10,161	8,969	9,967	11,077	12,036	+8.7%
府中市	410	457	488	525	608	641	490	648	707	778	+10.0%
世羅町	253	264	273	296	322	304	277	315	353	410	+16.1%
今治市	2,634	2,914	3,090	3,181	3,548	3,385	2,798	3,200	3,781	4,401	+16.4%
広島県	42,899	46,047	49,068	52,134	56,898	55,782	50,605	56,068	62,363	67,837	+8.8%

（資料）広島県「広島県国際化関係資料」、法務省「在留外国人統計」（今治市のデータ）

尾道市の人口動態

- 最近の10年間の人口動態をみると、自然増減は一貫して自然減となっており、直近5年間（2020-2024年（7,651人減））のほうが前期（2015-2019年（6,279人減））と比較して1,372人マイナス幅が大きくなっている。
- 社会増減をみると、2015年は社会増となっているが、その他の年は社会減となっており、直近5年間（2020-2024年（1,916人減））のほうが前期（2015-2019年（1,153人減））と比較して763人マイナス幅が大きくなっている。

人口動態の推移

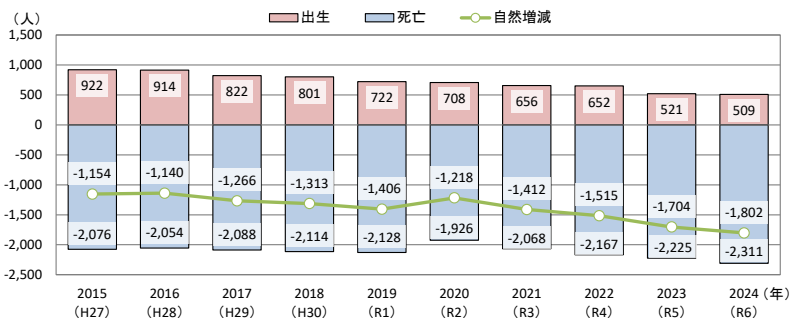


（資料）広島県「人口移動統計調査」

自然増減

- 本市の大きな人口減少要因である自然増減をみると、死亡数は2千人前後で推移しているのに対し、出生数は減少傾向で推移しており、直近の2024年（令和6年）では509人となっている。

自然動態の推移



（資料）広島県「人口移動統計調査」

- 直近5年間（2020-2024年）と前期5年間（2015-2019年）の自然増減率を比較すると、前期5年間（-4.64%）よりも直近5年間（-6.03%）は減少率が大きくなっている。

自然動態の推移

	人口	自然増減数	自然増減率	期間内 自然増減率
2015年 (H27)	137,968	-1,154	-0.84	-4.64
2016年 (H28)	137,346	-1,140	-0.83	
2017年 (H29)	135,545	-1,266	-0.93	
2018年 (H30)	133,794	-1,313	-0.98	
2019年 (R1)	132,277	-1,406	-1.06	
2020年 (R2)	130,696	-1,218	-0.93	-6.03
2021年 (R3)	128,857	-1,412	-1.10	
2022年 (R4)	126,932	-1,515	-1.19	
2023年 (R5)	125,179	-1,704	-1.36	
2024年 (R6)	123,184	-1,802	-1.46	

（注）期間内自然増減率 = 期間内の自然増減数の総和 ÷ 期間内の平均人口 × 100

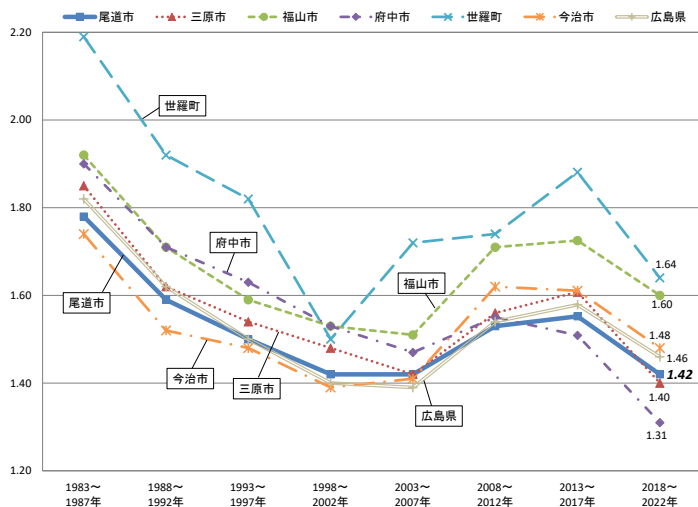
（資料）広島県「人口移動統計調査」

II 尾道市の概況 ②人口・世帯

合計特殊出生率

- 本市の合計特殊出生率は、緩やかに低下し、2003年（平成15年）～2007年（平成21年）に下げ止まった後、2008年（平成20年）～2017年（平成29年）には1.55まで上昇したが、2018年（平成30年）～2022年（令和4年）には再び1.42に低下している。
- 2018年（平成30年）～2022年（令和4年）における本市の合計特殊出生率は、広島県の1.46に比べて低い水準となっている。

合計特殊出生率の推移



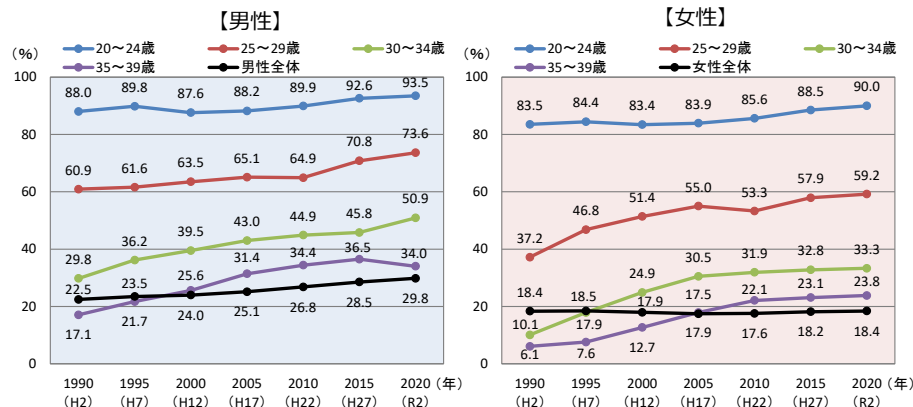
(注) 市町村合併以前の数値については、現在の市町村単位で遡及した数値が公表されていない。このため合併時点で人口が最も多い旧自治体の数値を用いている。

(資料) 厚生労働省「人口動態統計特殊報告 人口動態保健所・市区町村別統計」

未婚率の動向

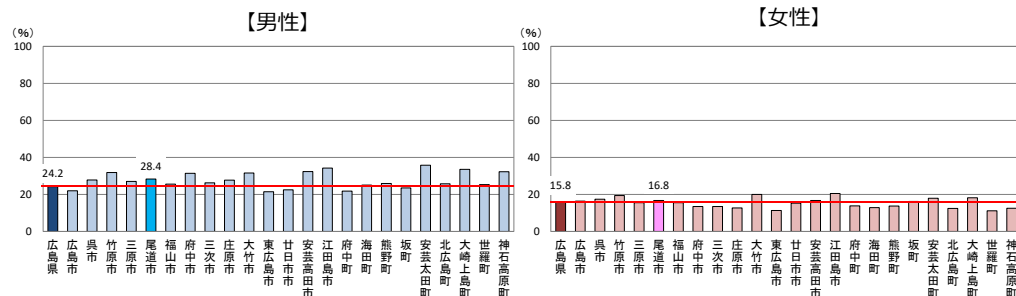
- 本市の未婚率は、男性では緩やかに上昇傾向となっており、女性では2000年（平成12年）から2010年（平成22年）にかけて微減で推移したが、2015年（平成27年）は再び微増で推移している。年齢別にみると、直近では、男女とも25～29歳、30～34歳の上昇が大きい。
- 生涯未婚率は、男女ともに県平均を上回っており、女性は周辺市町よりもやや高い水準となっている。

尾道市の男女別未婚率の推移



(資料) 総務省「国勢調査」

県内市町の生涯未婚率（50歳時点）（2020年（令和2年））



(注) グラフ中の赤線は広島県の未婚率 (=県平均) を示す。生涯未婚率とは、50歳時点で一度も結婚したことのない人の割合。45～49歳と50～54歳の「未婚率」の平均値から算出。

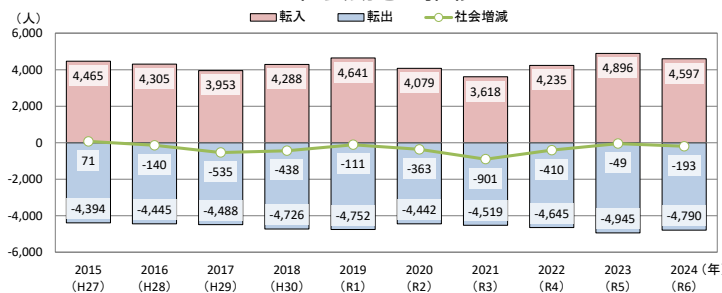
(資料) 総務省「国勢調査」

II 尾道市の概況 ②人口・世帯

社会動態

- 本市の最近の10年間の社会動態をみると、転入数は4,000人前後で、転出数は4,000人以上で増減を繰り返しながら推移し、社会増減は2016年（平成28年）以降は減少が続いている。
- 直近5年間（2020-2024年）と前期5年間（2015-2019年）の社会増減率を比較すると、前期5年間（-0.85%）よりも直近5年間（-1.51%）は減少率が大きくなっている。

社会動態の推移



社会増減率の推移

	人口	社会増減数	社会増減率	期間内 社会増減率
2015年 (H27)	137,968	71	0.05	-0.85
2016年 (H28)	137,346	-140	-0.10	
2017年 (H29)	135,545	-535	-0.39	
2018年 (H30)	133,794	-438	-0.33	
2019年 (R1)	132,277	-111	-0.08	
2020年 (R2)	130,696	-363	-0.28	-1.51
2021年 (R3)	128,857	-901	-0.70	
2022年 (R4)	126,932	-410	-0.32	
2023年 (R5)	125,179	-49	-0.04	
2024年 (R6)	123,184	-193	-0.16	

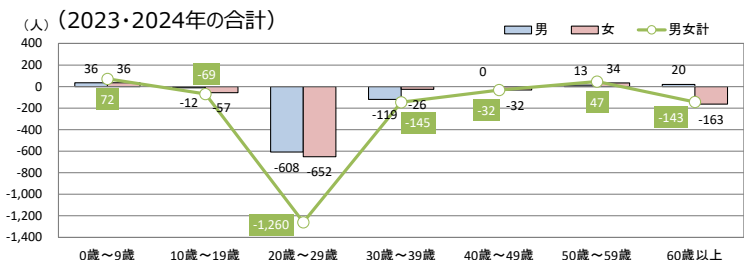
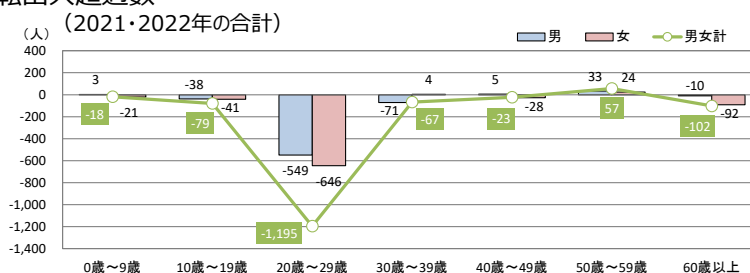
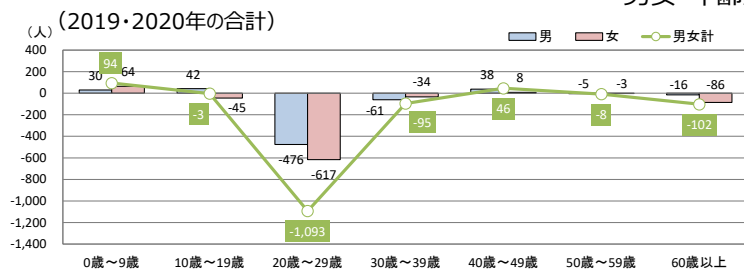
(注) 期間内社会増減率 = 期間内の社会増減数の総和 ÷ 期間内の平均人口 × 100

(資料) 広島県「人口移動統計調査」

男女・年齢別の移動の動向 (10歳区分)

- 人口移動の男女・年齢別の動向をみると、就職や結婚・離婚等に関する移動が多い20～29歳の転出超過数が男女ともに多くなっている。
- 女性に関しては、60歳以上で転出超過傾向がやや多くなっている。

男女・年齢別転出入超過数

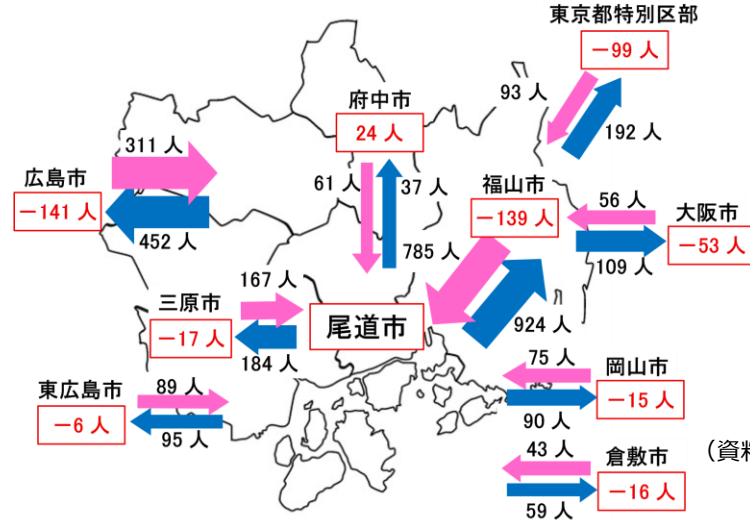


(資料) 総務省「住民基本台帳人口移動報告」

地域間移動の動向

- 本市の主な地域間移動の状況を見ると、広島市に対して141人の転出超過と最も多く、次いで福山市が139人の転出超過となっている。

尾道市の地域間移動の状況
(2024年(令和6年))

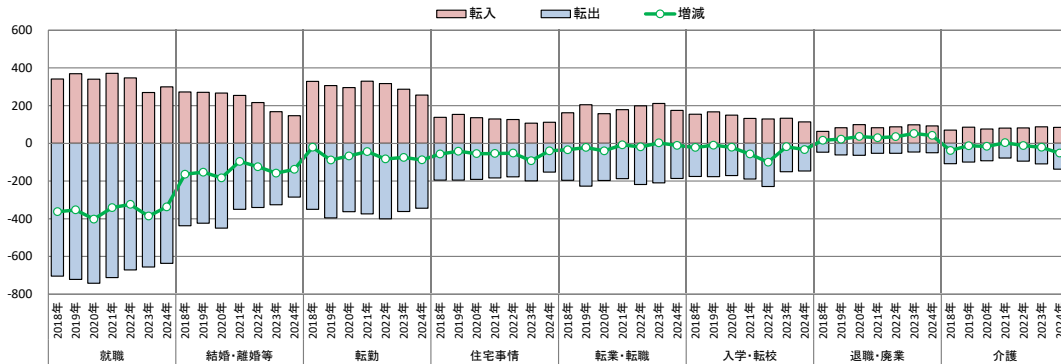


(資料) 総務省「住民基本台帳人口移動報告」

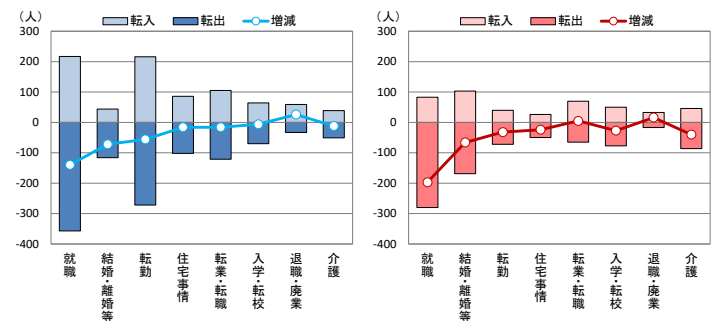
理由別転出入者数の動向

- 移動の主因者の理由別転出入数の状況を見ると、就職による転出超過が大きい。次いで、結婚・離婚等、転勤による転出超過が大きくなっている。
- 男女別にみると、男女ともに就職が最も転出超過が大きい。

理由別転出入者数の推移



男女別理由別転出入者数 (2024年(令和6年))

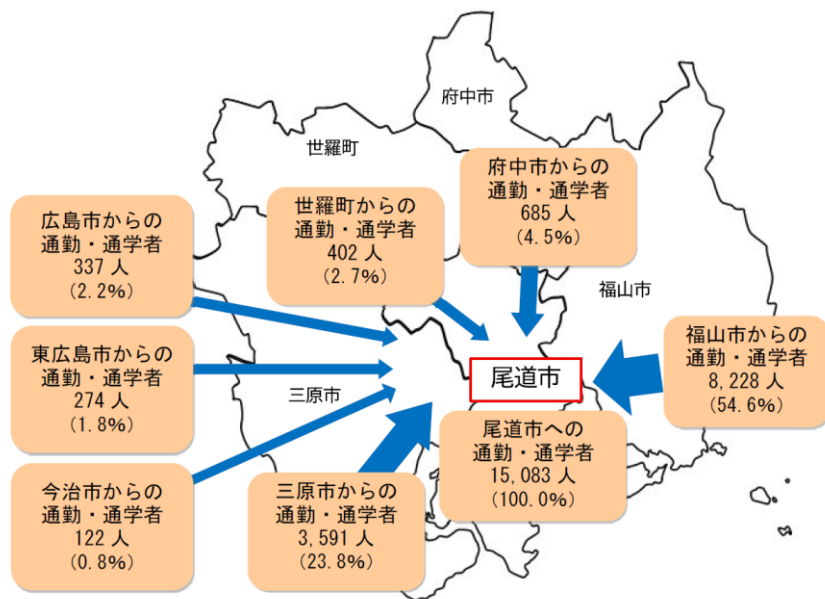


(資料) 尾道市「統計おのみち」

通勤・通学の状況

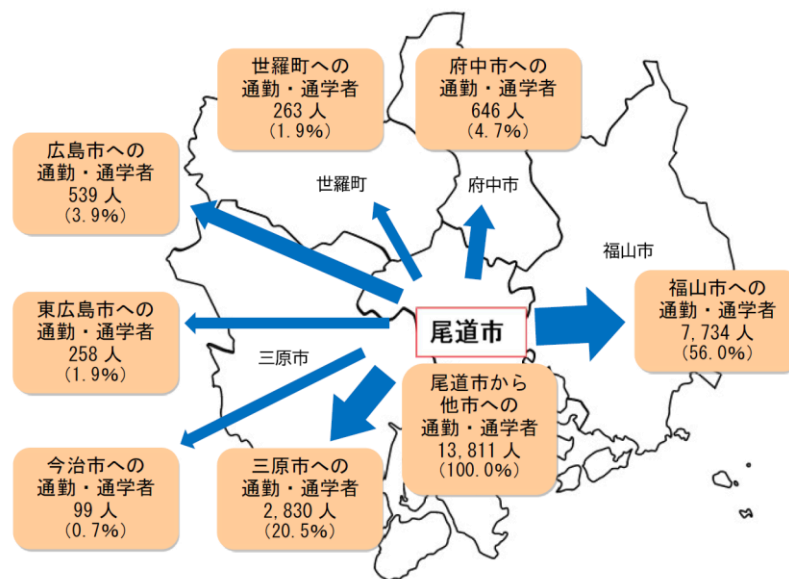
- 2020年（令和2年）における本市への周辺市町からの通勤・通学の状況を見ると、福山市からの通勤・通学者数（8,228人）が最も多く、全体の54.6%となっており、次いで三原市（3,591人）が続き、23.8%となっている。

周辺市町から尾道市への通勤・通学割合（2020年（令和2年））



- 2020年（令和2年）における本市から周辺市町への通勤・通学の状況を見ると、福山市への通勤・通学者数（7,734人）が最も多く、流出人口における割合は56.0%となっており、次いで三原市（2,830人）が20.5%となっている。

尾道市から周辺市町への通勤・通学状況（2020年（令和2年））

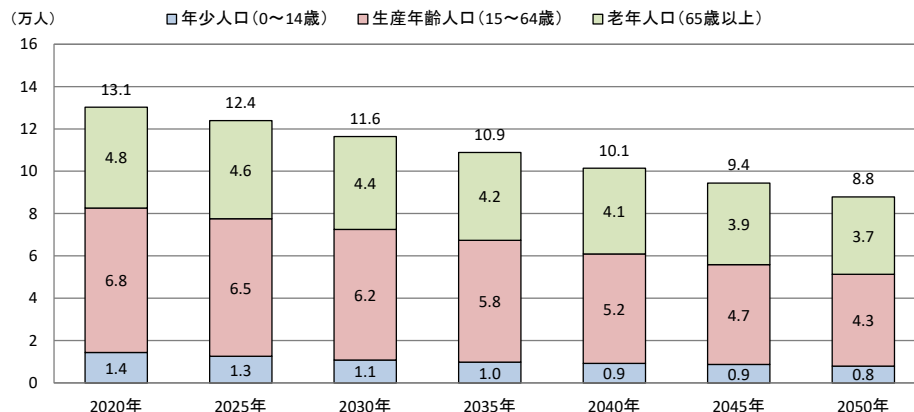


（資料）総務省「国勢調査」

将来推計人口

- 国立社会保障・人口問題研究所の推計（令和5年推計）によると、本市の将来推計人口は、2030年には約11.6万人に減少し、2050年には約8.8万人まで減少すると推計されている。
- 年齢3区分別でみると、年少人口は、2020年の約1.4万人から2030年には約1.1万人へと減少した後、2050年には約0.8万人まで減少すると推計されている。
- 生産年齢人口は、2020年の約6.8万人から2030年には約6.2万人へと減少した後、2050年には約4.3万人まで減少すると推計されている。
- 老年人口は、2020年の約4.8万人から2030年には約4.4万人まで減少した後、2050年には約3.7万人まで減少すると推計されている。

将来推計人口の推移



(注) 2020年は国勢調査による実績

(資料) 国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口令和5(2023)年推計」

世帯数

- 本市の世帯数は増加傾向で推移し、2010年（平成22年）には58,772世帯まで増加していたが、それ以降は減少傾向にあり、2020年（令和2年）には57,519世帯まで減少している。
- 周辺市町と比較すると、2015年（平成27年）から減少しているのは、本市の他に三原市、府中市、世羅町があるが、三原市、世羅町に比べ減少幅は小さい。
- 一方、本市の1世帯当たりの世帯構成人員は、減少傾向にあり、2020年（令和2年）は2.23人となっている。
- 周辺市町と比較すると、全ての市で2015年（平成27年）から減少しているが、本市は府中市、今治市に次ぐ減少率となっている。

周辺市町の総世帯数

【総世帯】	(単位：世帯)								【5年前比増減率】 (単位：%)				
	1990年(H2)	1995年(H7)	2000年(H12)	2005年(H17)	2010年(H22)	2015年(H27)	2020年(R2)	2020年-2015年	2000年(H12)	2005年(H17)	2010年(H22)	2015年(H27)	2020年(R2)
尾道市	55,032	55,892	57,076	58,132	58,772	57,759	57,519	-240	2.1	1.9	1.1	-1.7	-0.4
三原市	35,743	36,946	38,499	39,918	40,247	39,888	39,091	-797	4.2	3.7	0.8	-0.9	-2.0
福山市	139,166	151,172	159,740	168,728	178,718	185,555	193,371	7,816	5.7	5.6	5.9	3.8	4.2
府中市	15,525	15,685	15,563	15,384	15,122	15,039	15,030	-9	-0.8	-1.2	-1.7	-0.5	-0.1
世羅町	6,466	6,512	6,493	6,588	6,504	6,242	6,085	-157	-0.3	1.5	-1.3	-4.0	-2.5
今治市	64,781	66,692	68,626	69,015	68,249	67,105	68,328	1,223	2.9	0.6	-1.1	-1.7	1.8
広島県	981,096	1,049,588	1,099,536	1,145,551	1,184,967	1,211,425	1,243,527	32,102	4.8	4.2	3.4	2.2	2.6

1世帯当たりの人員数

【1世帯当たりの人員数】	(単位：人)								【5年前比増減率】 (単位：%)				
	1990年(H2)	1995年(H7)	2000年(H12)	2005年(H17)	2010年(H22)	2015年(H27)	2020年(R2)	2020年-2015年	2000年(H12)	2005年(H17)	2010年(H22)	2015年(H27)	2020年(R2)
尾道市	3.03	2.86	2.72	2.58	2.47	2.40	2.23	-0.17	-4.9	-5.1	-4.3	-2.8	-7.3
三原市	3.09	2.94	2.76	2.61	2.50	2.41	2.24	-0.17	-6.1	-5.4	-4.2	-3.6	-7.0
福山市	3.20	3.00	2.86	2.72	2.58	2.50	2.34	-0.16	-4.7	-4.9	-5.1	-3.1	-6.5
府中市	3.39	3.21	3.06	2.94	2.81	2.66	2.44	-0.22	-4.7	-3.9	-4.4	-5.3	-8.4
世羅町	3.35	3.18	3.03	2.86	2.70	2.62	2.42	-0.20	-4.7	-5.6	-5.6	-3.0	-7.8
今治市	2.96	2.78	2.63	2.52	2.44	2.36	2.16	-0.20	-5.4	-4.2	-3.2	-3.3	-8.3
広島県	2.90	2.75	2.62	2.51	2.41	2.35	2.20	-0.15	-4.7	-4.2	-4.0	-2.5	-6.6

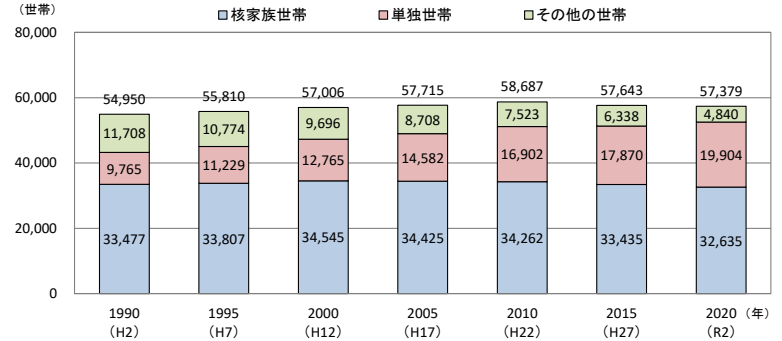
(資料) 総務省「国勢調査」

II 尾道市の概況 ②人口・世帯

世帯類型別にみた世帯数

- 本市の一般世帯は2010年（平成22年）をピークに減少している。世帯類型別にみると、核家族世帯は2000年（平成12年）をピークに減少しており、単独世帯は増加傾向となっている。
- 周辺市町と比較すると、核家族世帯数では、2015年（平成27年）から減少しているのは、本市の他に三原市、世羅町、今治市があるが、本市は減少している他の市町よりも減少率がやや小さい。
- 単独世帯数では、全ての市町で2015年（平成27年）から増加しており、本市は広島県よりも増加率がやや大きくなっている。
- 2020年（令和2年）における一般世帯のうち65歳以上の高齢者単独世帯の構成比をみると、周辺市町の全てで増加傾向となっているが、本市（16.3%）は周辺市町の中では、今治市に次ぐ高い水準となっている。

世帯類型別一般世帯数の推移



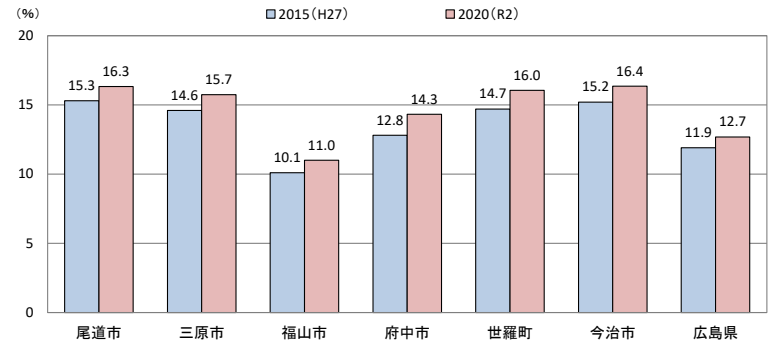
周辺市町の核家族世帯数と単独世帯数

	【核家族世帯】 (単位：世帯)								【5年前比増減率】 (単位：%)				
	1990年 (H2)	1995年 (H7)	2000年 (H12)	2005年 (H17)	2010年 (H22)	2015年 (H27)	2020年 (R2)	2020年 -2015年	2000年 (H12)	2005年 (H17)	2010年 (H22)	2015年 (H27)	2020年 (R2)
尾道市	33,477	33,807	34,545	34,425	34,262	33,435	32,635	-800	2.2	-0.3	-0.5	-2.4	-2.4
三原市	18,171	22,576	23,443	23,739	23,633	23,191	22,522	-669	3.8	1.3	-0.4	-1.9	-2.9
福山市	83,329	88,807	94,683	98,879	102,554	107,805	109,241	1,436	6.6	4.4	3.7	5.1	1.3
府中市	8,315	8,448	8,507	8,532	8,264	8,448	8,499	51	0.7	0.3	-3.1	2.2	0.6
世羅町	2,995	3,142	3,219	3,332	3,427	3,369	3,209	-160	2.5	3.5	2.9	-1.7	-4.7
今治市	39,997	40,772	42,018	41,486	40,711	39,513	38,475	-1,038	3.1	-1.3	-1.9	-2.9	-2.6
広島県	595,236	626,329	656,863	673,595	684,489	695,485	695,820	335	4.9	2.5	1.6	1.6	0.0

	【単独世帯】 (単位：世帯)								【5年前比増減率】 (単位：%)				
	1990年 (H2)	1995年 (H7)	2000年 (H12)	2005年 (H17)	2010年 (H22)	2015年 (H27)	2020年 (R2)	2020年 -2015年	2000年 (H12)	2005年 (H17)	2010年 (H22)	2015年 (H27)	2020年 (R2)
尾道市	9,765	11,229	12,765	14,582	16,902	17,870	19,904	2,034	13.7	14.2	15.9	5.7	11.4
三原市	6,485	7,395	8,891	10,548	11,724	12,535	13,192	657	20.2	18.6	11.1	6.9	5.2
福山市	25,311	32,525	36,351	41,529	51,544	56,044	64,876	8,832	11.8	14.2	24.1	8.7	15.8
府中市	2,450	2,772	2,937	3,082	3,435	3,823	4,301	478	6.0	4.9	11.5	11.3	12.5
世羅町	951	1,073	1,169	1,345	1,514	1,530	1,734	204	8.9	15.1	12.6	1.1	13.3
今治市	12,830	15,027	16,989	18,744	19,666	20,966	24,602	3,636	13.1	10.3	4.9	6.6	17.3
広島県	227,790	275,482	307,122	335,788	387,528	417,099	462,961	45,862	11.5	9.3	15.4	7.6	11.0

(注) 一般世帯とは、施設等の世帯(寮・寄宿舎の学生・生徒、病院・療養所等の入院者、入所者などを除く)以外の世帯をいい、核家族とは、①夫婦のみの世帯、②夫婦と子供から成る世帯、③男親と子供から成る世帯、④女親と子供から成る世帯で、単独世帯とは、世帯人員が一人の世帯のことである。

一般世帯に占める高齢者単独世帯の割合

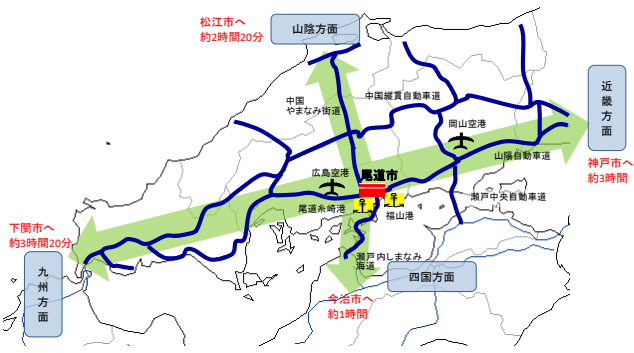


(資料) 総務省「国勢調査」

II 尾道市の概況 ③交通ネットワーク

道路交通

- 本市と近隣市町等への高速道路利用時の自動車による移動所要時間は、広島県内では30～45分程度となっている。
- 瀬戸内しまなみ海道利用時の移動所要時間は、今治まで約60分、中国やまなみ街道（尾道松江線）利用時の移動所要時間は、松江市まで約130分となっている。



高速道路の移動所要時間

(単位:分)

	尾道市	三原市	福山市	府中市	世羅町	今治市	松江市
尾道市	-	29	34	34	37	59	132
三原市	29	-	44	46	38	73	139
福山市	34	44	-	36	43	77	138
府中市	34	46	36	-	33	76	128
世羅町	37	38	43	33	-	80	105
今治市	59	73	77	76	80	-	175
松江市	132	139	138	128	105	175	-

(注) 各市町の市役所（町役場）間の移動時間で、平日午前10時出発で検索した結果の最短時間。

(資料) googleマップルート検索の結果を基に作成

港湾

- 尾道市には、重要港湾である尾道糸崎港がある。輸出額をみると、近年は増加傾向にあり、2023年（令和5年）は2,103億円となっている。
- 輸入額をみると、2013年（平成25年）から2021年（令和3年）にかけて300～700億円台で推移していたが、2022年（令和4年）は1,688億円に大幅に増加し、2023年（令和5年）は1,308億円となっている。

広島県内主要港の輸出入額の推移

(単位:億円)

【輸出額】	尾道糸崎	土生	広島	呉	福山	竹原
2013 (H25)	1,726	449	11,178	1,468	4,892	0.1
2014 (H26)	1,771	417	12,774	1,463	5,092	-
2015 (H27)	1,750	502	14,597	1,904	4,533	-
2016 (H28)	1,343	287	14,535	2,357	3,594	-
2017 (H29)	1,541	422	15,128	2,278	4,339	-
2018 (H30)	1,543	453	13,886	2,966	4,766	-
2019年 (R1)	1,639	270	14,436	1,963	4,036	-
2020年 (R2)	1,379	155	11,789	1,984	3,518	-
2021年 (R3)	1,507	109	13,368	1,835	5,415	-
2022年 (R4)	1,626	-	16,304	2,475	6,951	-
2023年 (R5)	2,103	-	19,093	2,835	6,119	-

(単位:億円)

【輸入額】	尾道糸崎	土生	広島	呉	福山	竹原
2013年 (H25)	309	1.2	3,060	4,139	4,667	225
2014年 (H26)	305	2	3,466	3,720	4,974	296
2015年 (H27)	361	34	4,010	2,406	4,188	292
2016年 (H28)	309	24	3,604	1,370	3,502	251
2017年 (H29)	302	16	3,975	1,559	4,472	306
2018年 (H30)	542	62	4,199	1,740	4,589	201
2019年 (R1)	410	168	4,386	1,253	4,613	-
2020年 (R2)	423	58	3,447	708	3,559	-
2021年 (R3)	758	1	3,498	1,370	5,760	-
2022年 (R4)	1,688	-	4,203	2,309	8,020	-
2023年 (R5)	1,308	-	4,980	1,318	7,338	-

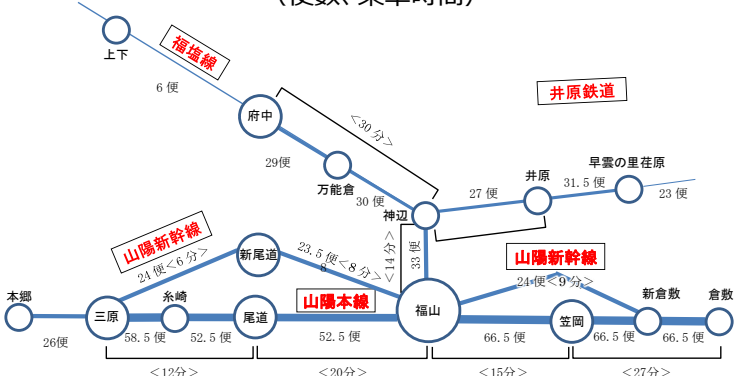
(注) 平成30年7月以降、竹原は尾道糸崎に含む。

(資料) 広島県「広島県統計年鑑」

鉄道

- J R山陽本線、新幹線が市内を横切る形となっているほか、三原市や福山市方面への便数も1日50便以上確保されていることから、東西方向の利便性は高い。
- 一方で、尾道市の南北方向へは鉄道がないことから、航路・バスを利用した移動が必要。

J R等公共交通機関主要駅の乗車マップ (便数、乗車時間)



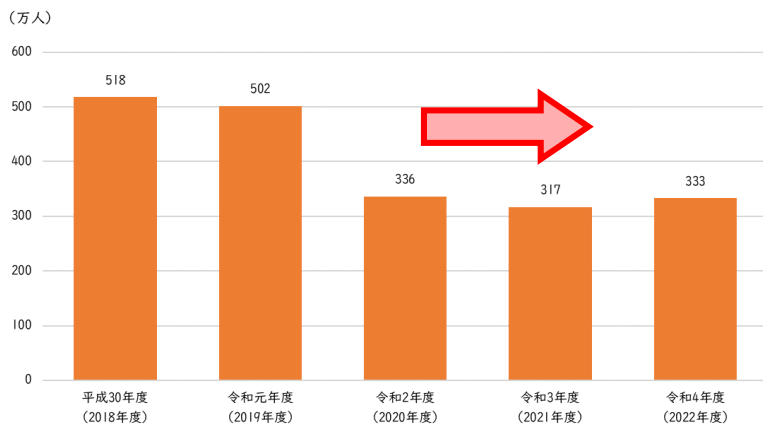
(注) 便数は平日の上り・下り時間の平均で快速を含む。時間は普通便の朝7時台の所要時間

(資料) J R西日本 H P、井原鉄道 H P

路線バス・航路

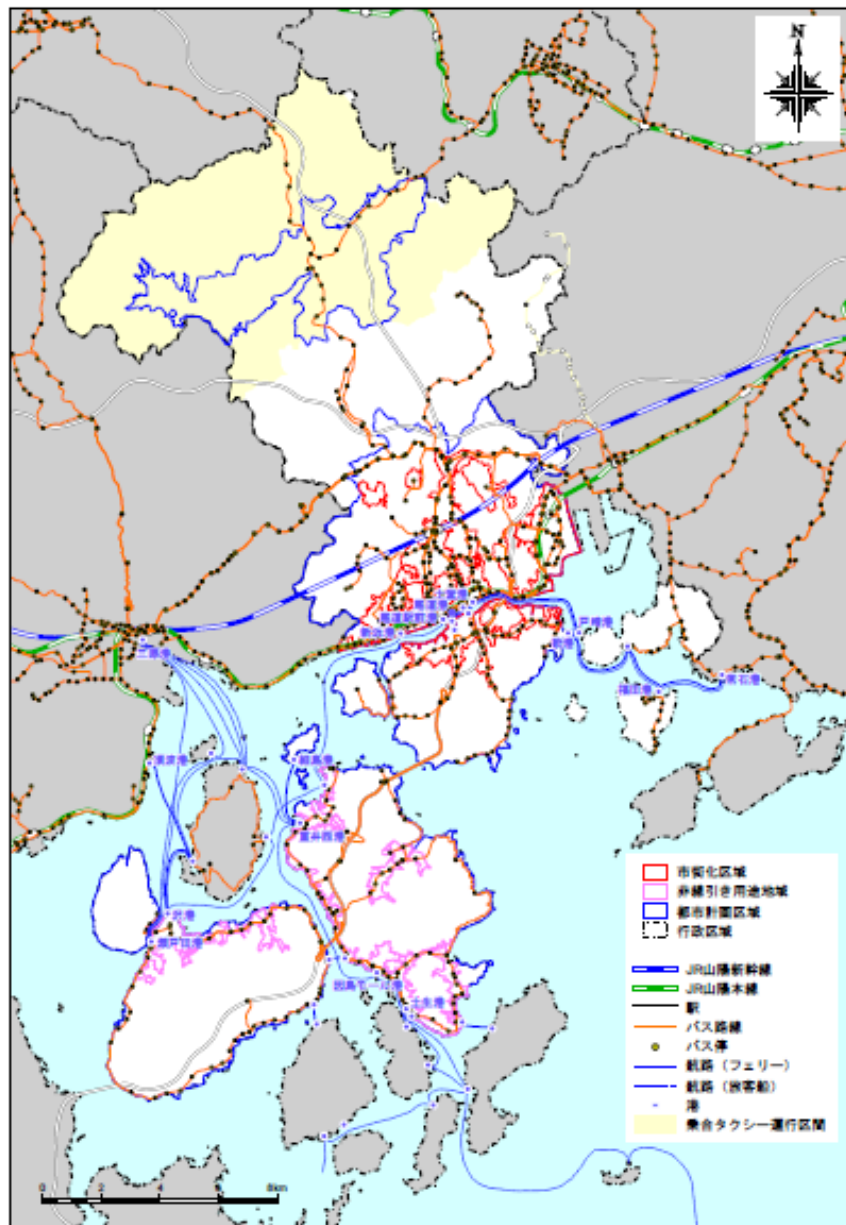
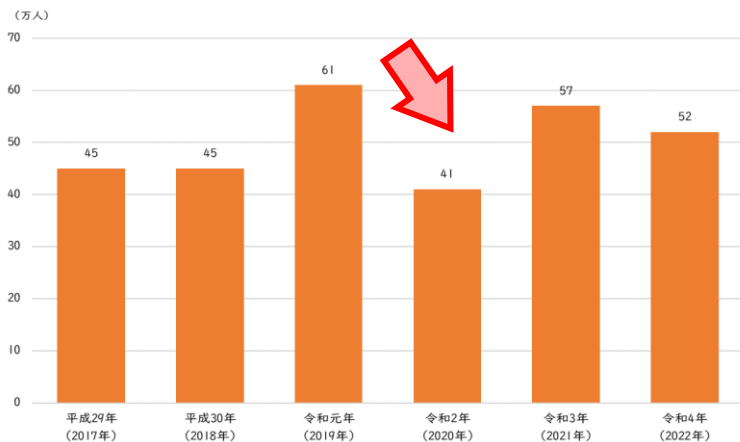
- 路線バスの利用者数は、2020（令和2）年度に減少し、以降横ばいに推移している。
- 航路の利用者数は、年により変動はあるが、減少傾向となっている。

路線バス年間利用者数の推移



(注) 尾道市を走行する系統のみ (本四バス開発、おのみちバス、鞆鉄道、中国バス、因の島バス)

航路利用者数の推移



(資料) 尾道市「尾道市立地適正化計画」

尾道市の事業所数

- 経済センサス活動調査による2021年（令和3年）の本市の事業所数は、6,862事業所となっている。産業別に内訳をみると、第一次産業が33事業所、第二次産業が1,320事業所、第三次産業が5,509事業所となっている。
- 周辺市町と比較すると、広島県平均を下回るものの、第三次産業の構成比が三原市について、高くなっている。

周辺市町の産業3部門別事業所数

	第一次産業				第二次産業				第三次産業				全産業計	
	事業所数(所)		構成比(%)		事業所数(所)		構成比(%)		事業所数(所)		構成比(%)			
	H28	R3	H28	R3	H28	R3	H28	R3	H28	R3	H28	R3	H28	R3
尾道市	28	33	0.4	0.5	1,366	1,320	18.6	19.2	5,940	5,509	81.0	80.3	7,334	6,862
三原市	59	69	1.4	1.7	741	702	17.0	17.0	3,547	3,355	81.6	81.3	4,347	4,126
福山市	39	51	0.2	0.3	4,338	4,151	20.6	20.4	16,655	16,151	79.2	79.4	21,032	20,353
府中市	12	22	0.5	1.0	624	554	26.9	26.0	1,683	1,557	72.6	73.0	2,319	2,133
世羅町	78	83	8.7	9.7	186	164	20.6	19.1	637	612	70.7	71.2	901	859
今治市	53	57	0.6	0.7	1,787	1,584	21.2	20.7	6,599	5,999	78.2	78.5	8,439	7,640
広島県	816	974	0.6	0.8	21,761	20,819	17.1	17.0	104,480	100,362	82.2	82.2	127,057	122,155

(資料) 総務省「平成28年経済センサス－活動調査」、「令和3年経済センサス－活動調査」

尾道市の従業者数

- 経済センサス活動調査による2021年（令和3年）における本市の従業者数は、59,450人となっている。産業別に内訳をみると、第一次産業が342人、第二次産業が20,029人、第三次産業が39,079人となっている。
- 周辺市町と比較すると、第二次産業の構成比が府中市について、高くなっている。

周辺市町の産業3部門別従業者数

	第一次産業				第二次産業				第三次産業				全産業計	
	従業者数(人)		構成比(%)		従業者数(人)		構成比(%)		従業者数(人)		構成比(%)			
	H28	R3	H28	R3	H28	R3	H28	R3	H28	R3	H28	R3	H28	R3
尾道市	241	342	0.4	0.6	20,711	20,029	34.1	33.7	39,709	39,079	65.5	65.7	60,661	59,450
三原市	936	1,044	2.2	2.7	13,402	11,399	31.9	29.4	27,669	26,377	65.9	67.9	42,007	38,820
福山市	403	616	0.2	0.3	59,583	59,423	27.9	27.9	153,764	153,246	71.9	71.9	213,750	213,285
府中市	161	245	0.8	1.3	9,087	8,458	45.3	45.1	10,799	10,053	53.9	53.6	20,047	18,756
世羅町	1,361	1,351	21.5	21.7	1,373	1,318	21.7	21.1	3,604	3,567	56.9	57.2	6,338	6,236
今治市	515	643	0.7	1.0	21,575	20,492	31.0	30.6	47,468	45,915	68.2	68.5	69,558	67,050
広島県	10,763	12,145	0.8	0.9	319,966	318,421	24.6	24.4	971,345	973,058	74.6	74.6	1,302,074	1,303,624

(資料) 総務省「平成28年経済センサス－活動調査」、「令和3年経済センサス－活動調査」

雇用情勢

- 周辺市町と有効求人倍率の推移を比較すると、2024年度（令和6年度）は、広島県平均を上回っている。

周辺市町の有効求人倍率

(単位:倍)

	2015年度(H27)	2016年度(H28)	2017年度(H29)	2018年度(H30)	2019年度(R1)	2020年度(R2)	2021年度(R3)	2022年度(R4)	2023年度(R5)	2024年度(R6)
尾道市	1.39	1.43	1.74	2.05	2.00	1.41	1.42	1.61	1.34	1.44
三原市	1.43	1.43	1.66	1.55	1.62	1.23	1.33	1.48	1.28	1.18
福山市	1.60	1.70	1.88	1.96	1.97	1.54	1.49	1.65	1.67	1.57
広島県	1.52	1.68	1.88	2.08	1.96	1.29	1.38	1.57	1.53	1.43

(注) 尾道市には世羅町の数値が含まれる。

(資料) 広島労働力「雇用関係統計管内の雇用情勢（令和7年7月分）」

- 2020年（令和2年）における本市の女性の労働参加率（総人口に占める労働力人口の割合）をみると、25～29歳が最も高く、これに40～44歳が続く。一方、大学在学者を含む20～24歳が最も低くなっている。
- 25歳～44歳では、1990年（平成2年）以降は増加傾向で、特に25～39歳には大幅に増加している。また、2020年（令和2年）の労働参加率を広島県と比較すると、全年齢区分で、広島県を上回る水準となっている。
- 本市の高齢者の労働参加率の推移をみると、雇用延長などが進んだことから、65～69歳、70～74歳では2020年（令和2年）が他の年次に比べて高くなっている。その他の年齢階層では特に大きな差はみられない。
- 2020年（令和2年）の高齢者の労働参加率を広島県と比較すると、全年齢区分で、本市は概ね広島県並みの水準となっている。

周辺市町の女性の労働参加率の推移

(単位:%)

	2000年(H12)				
	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳
尾道市	72.3	70.3	60.3	64.8	75.5
三原市	70.8	69.2	59.8	66.6	75.0
福山市	72.9	69.0	60.3	65.5	73.5
府中市	82.0	71.4	68.0	75.9	80.4
世羅町	78.7	68.8	74.6	76.8	86.6
今治市	78.4	66.2	56.0	58.3	66.0
広島県	70.5	68.2	57.2	61.7	70.9
	2010年(H22)				
	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳
尾道市	70.8	73.4	67.8	69.6	75.8
三原市	68.3	70.6	64.8	67.3	72.9
福山市	68.0	71.4	66.0	67.2	71.8
府中市	72.4	76.6	72.6	76.4	79.7
世羅町	79.8	74.4	73.7	79.4	82.8
今治市	77.1	72.6	65.0	67.8	71.9
広島県	67.8	72.7	65.1	66.2	71.8
	2020年(R2)				
	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳
尾道市	69.4	80.6	75.0	75.6	79.7
三原市	73.7	79.9	74.2	74.5	77.0
福山市	64.2	73.9	70.0	72.0	75.4
府中市	69.6	81.1	78.3	76.8	82.1
世羅町	83.2	86.0	86.5	87.5	89.8
今治市	71.8	74.7	72.3	74.0	76.8
広島県	66.5	75.8	70.1	70.7	74.9

周辺市町の高齢者の労働参加率の推移

(単位:%)

	2000年(H12)			
	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳
尾道市	34.3	24.8	18.3	11.3
三原市	37.4	27.7	19.7	11.5
福山市	33.5	22.4	15.6	8.8
府中市	35.0	23.1	16.5	10.3
世羅町	62.9	53.6	32.6	23.0
今治市	35.6	26.1	18.5	10.7
広島県	36.9	26.4	18.9	11.5
	2010年(H22)			
	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳
尾道市	41.3	26.1	16.9	10.3
三原市	38.2	25.5	18.1	13.0
福山市	36.4	21.9	13.7	9.7
府中市	38.3	23.8	17.6	12.0
世羅町	53.7	40.3	25.5	15.2
今治市	35.8	23.6	14.8	10.0
広島県	38.3	23.9	15.6	10.7
	2020年(R2)			
	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳
尾道市	47.4	30.7	18.9	11.1
三原市	47.5	32.2	18.2	10.5
福山市	46.2	29.7	16.9	9.8
府中市	50.5	32.5	17.7	9.6
世羅町	67.1	55.3	35.4	23.2
今治市	47.6	31.7	17.9	11.8
広島県	49.3	32.7	18.4	10.5

(資料) 総務省「国勢調査」

市内総生産の推移

- 本市の市内総生産の推移をみると、増減を繰り返しながら推移しており、2022年度（令和4年度）の市内総生産額は5,653億円となっている。
- 周辺市町と比較すると、2022年度（令和4年度）の市内総生産額は福山市、今治市に次ぐ経済規模となっている。

周辺市町の市内総生産

（単位：億円）

	2015年度 (H27)	2016年度 (H28)	2017年度 (H29)	2018年度 (H30)	2019年度 (R1)	2020年度 (R2)	2021年度 (R3)	2022年度 (R4)
尾道市	5,127	4,982	5,367	5,386	5,223	5,149	5,419	5,653
三原市	3,945	3,643	4,017	3,764	4,078	3,393	3,567	3,768
福山市	19,892	19,202	17,844	18,106	17,306	16,659	16,694	16,404
府中市	1,469	1,657	1,605	1,666	1,667	1,581	1,685	1,725
世羅町	457	613	509	463	455	466	459	446
今治市	6,510	6,496	7,271	7,587	6,873	5,441	6,838	5,812
広島県	123,668	124,334	125,359	123,393	120,480	116,173	121,239	124,761

（資料）広島県HP「市町民経済計算令和4年度広島県市町民経済計算結果」
愛媛県「オープンデータカタログサイト令和4年度愛媛県市町民所得統計」

II 尾道市の概況 ⑥工業

製造業の事業所数・従業者数・製造品出荷額等

- 2023年（令和5年）の事業所数は498事業所、従業者数は15,849人。
- 2023年（令和5年）の製造品出荷額等は5,993億円で、2015年（平成27年）以降では最高となっている。

周道市町の製造業の周道市町比較

【事業所数】	（単位：事業所、%）									
	2015年 (H27)	2016年 (H28)	2017年 (H29)	2018年 (H30)	2019年 (R1)	2020年 (R2)	2021年 (R3)	2022年 (R4)	2023年 (R5)	2023年 -2018年 変化率
尾道市	430	355	354	350	349	406	498	500	498	42.3
三原市	221	192	181	177	171	188	227	229	228	28.8
福山市	1,371	1,210	1,181	1,140	1,106	1,136	1,388	1,393	1,382	21.2
府中市	257	229	223	214	212	206	258	258	259	21.0
世羅町	44	40	41	41	43	34	39	39	39	-4.9
今治市	469	396	388	370	362	393	476	482	478	29.2
広島県	5,661	4,920	4,802	4,688	4,577	4,812	5,893	5,900	5,871	25.2
【従業者数】	（単位：人、%）									
	2015年 (H27)	2016年 (H28)	2017年 (H29)	2018年 (H30)	2019年 (R1)	2020年 (R2)	2021年 (R3)	2022年 (R4)	2023年 (R5)	2023年 -2018年 変化率
尾道市	14,655	14,711	14,656	15,082	14,944	14,674	15,382	15,563	15,849	5.1
三原市	9,759	9,153	8,646	8,649	8,814	7,847	8,193	8,263	9,273	7.2
福山市	38,240	39,411	40,126	40,355	40,012	37,420	38,358	38,913	38,296	-5.1
府中市	7,013	7,352	7,043	7,090	7,071	7,048	6,678	7,115	6,957	-1.9
世羅町	791	751	832	801	841	680	796	719	728	-9.1
今治市	11,656	11,646	11,742	11,489	11,479	11,296	11,850	12,423	12,215	6.3
広島県	211,902	215,192	216,899	220,240	218,639	207,756	212,956	214,241	214,305	-2.7
【製造品出荷額等】	（単位：億円、%）									
	2015年 (H27)	2016年 (H28)	2017年 (H29)	2018年 (H30)	2019年 (R1)	2020年 (R2)	2021年 (R3)	2022年 (R4)	2023年 (R5)	2023年 -2018年 変化率
尾道市	5,512	5,561	5,975	5,752	5,671	5,632	5,621	5,750	5,993	4.2
三原市	3,895	3,493	3,944	3,907	4,135	3,040	3,731	4,104	4,433	13.5
福山市	21,448	19,375	17,259	17,930	17,164	14,962	19,329	21,761	21,780	21.5
府中市	1,490	1,853	1,892	1,989	1,893	1,646	1,878	2,169	2,072	4.2
世羅町	138	123	140	123	123	127	144	127	135	9.6
今治市	9,608	8,573	10,092	9,713	10,540	6,882	10,452	11,426	12,182	25.4
広島県	103,428	99,415	100,404	100,397	97,415	88,699	99,439	106,923	114,765	14.3

(注) 従業者数4人以上の事業所

(資料) 経済産業省「工業統計表（市区町村別）」
 総務省「平成28年経済センサス-活動調査結果（製造業）」
 「2022年経済構造実態調査」
 「2023年経済構造実態調査」
 「2024年経済構造実態調査」

- 2018年（平成30年）と2023年（令和5年）の製造品出荷額等は、ともにプラスチック製品製造業が最も多く、30%を超えており、本市の製造品出荷額等の主要産業となっている。しかしながら、5年間の変化では、構成比が5.5ポイント低下している。
- 次いで輸送用機械器具製造業で20%以上を占めている。
- 2018年（平成30年）と比較して金属製品製造業、化学工業、業務用機械器具製造業、鉄鋼業の構成比の順位が上昇している。

製造品出荷額等の構成比の変化

【2018年(平成30年)】			【2023年(令和5年)】		
業種	（単位：億円、%）		業種	（単位：億円、%）	
	製造品 出荷額 等	構成比		製造品 出荷額 等	構成比
プラスチック製品製造業	2,122	36.9	プラスチック製品製造業	1,883	31.4
輸送用機械器具製造業	1,274	22.2	輸送用機械器具製造業	1,631	27.2
食料品製造業	499	8.7	食料品製造業	571	9.5
生産用機械器具製造業	438	7.6	生産用機械器具製造業	544	9.1
はん用機械器具製造業	386	6.7	金属製品製造業	407	6.8
金属製品製造業	362	6.3	化学工業	181	3.0
化学工業	168	2.9	はん用機械器具製造業	173	2.9
ゴム製品製造業	131	2.3	木材・木製品製造業（家具を除く）	73	1.2
木材・木製品製造業（家具を除く）	81	1.4	業務用機械器具製造業	69	1.1
パルプ・紙・紙加工品製造業	55	1.0	パルプ・紙・紙加工品製造業	69	1.1
業務用機械器具製造業	53	0.9	繊維工業	55	0.9
繊維工業	52	0.9	鉄鋼業	51	0.9
鉄鋼業	38	0.7	家具・装備品製造業	27	0.5
家具・装備品製造業	29	0.5	電気機械器具製造業	23	0.4
電気機械器具製造業	21	0.4	窯業・土石製品製造業	14	0.2
窯業・土石製品製造業	15	0.3	印刷・同関連業	13	0.2
印刷・同関連業	14	0.2	石油製品・石炭製品製造業	11	0.2
飲料・たばこ・飼料製造業	4	0.1	非鉄金属製造業	3	0.0
石油製品・石炭製品製造業	-	0.0	ゴム製品製造業	-	0.0
非鉄金属製造業	-	0.0	飲料・たばこ・飼料製造業	-	0.0
その他の製造業	4	0.1	その他の製造業	6	0.1
製造業計	5,752	100.0	製造業計	5,993	100.0

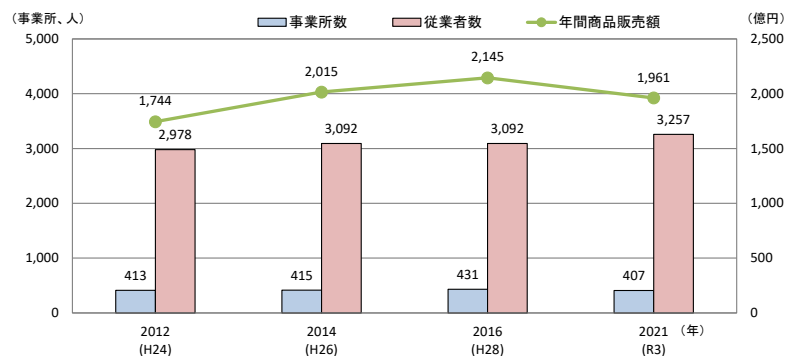
(注) 従業者数4人以上の事業所

(資料) 経済産業省「工業統計表（市区町村別）」
 「2024年経済構造実態調査」

卸売業

- 本市の卸売業では、従業者数は増加傾向にある。
- 事業所数と年間商品販売額は2016年（平成28年）まで増加傾向で、2021年（令和3年）に減少。

卸売業の推移



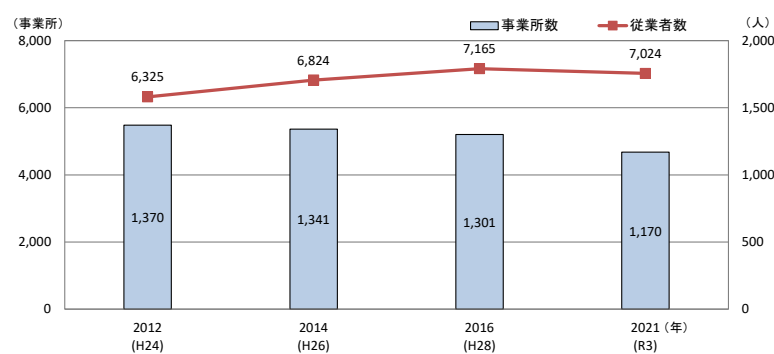
(注) 2012年、2016年は経済センサス活動調査による値であり、統計が異なるため、前後の年次と比較できない。

(資料) 経済産業省「平成26年商業統計」、
 総務省「平成24年経済センサス-活動調査結果（卸売業、小売業）」
 「平成28年経済センサス-活動調査結果（卸売業、小売業）」、「令和3年経済センサス-活動調査結果（卸売業、小売業）」

小売業

- 事業所数は減少傾向。
- 従業者数は2016年（平成28年）まで増加傾向で、2021年（令和3年）に減少。
- 年間商品販売額は2016年（平成28年）まで増加傾向で、2021年（令和3年）に減少。
- 売場面積は増減を繰り返しながら推移。

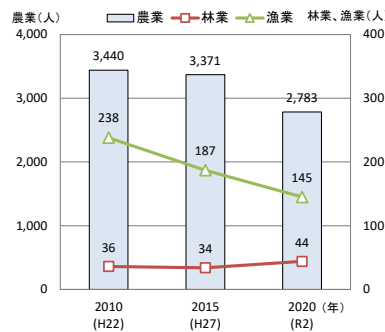
小売業の事業所数、従業者数の推移



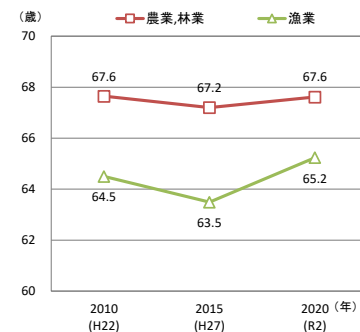
農林水産業の就業者の状況

- 本市の農業就業者数は減少傾向で、2020年（令和2年）は2,783人。
- 漁業についても農業と同様に、漁業就業者数は減少傾向で、2020年（令和2年）は145人。
- 一方、林業就業者数は、2020年（令和2年）は44人で、2010年（平成22年）から8人増加。
- 2020年（令和2年）における就業者の平均年齢は、農業が67.9歳、漁業が65.2歳、農業・林業が67.6歳。農業・漁業・林業のいずれも就業者の平均年齢が上昇傾向にあり、就業者数の減少や高齢化が課題である。

農林水産業の就業者数



農林水産業の就業者の平均年齢

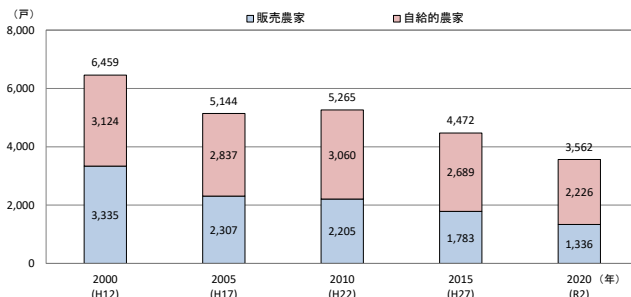


(資料) 総務省「国勢調査」

農業の現状

- 本市の総農家数は、概ね減少傾向。特に販売農家数は一貫して減少している。
- 2020年（令和2年）の本市の総農家数は3,562戸（広島県の7.9%）であった。
- 農業産出額は、2021年（令和3年）以降は増加傾向で、2023年（令和5年）は1,204千万円（広島県の8.3%）であった。
- 農家1戸当たりの農業産出額は338万円で、三原市、世羅町を除く周辺市町を上回っている。

総農家数の推移



(注) 「農家」とは、経営耕地面積が10アール以上又は農産物販売金額が15万円以上の世帯をいう。「販売農家」とは、経営耕地面積が30アール以上又は農産物販売金額が50万円以上の農家をいう。

周辺市町の農家数等の状況（2020年(令和2年)）

	総農家数(戸)	販売農家数(戸)
尾道市	3,562	1,336
三原市	2,821	1,642
福山市	6,253	1,316
府中市	1,255	400
世羅町	1,697	1,139
今治市	4,016	2,204
広島県	45,335	20,861

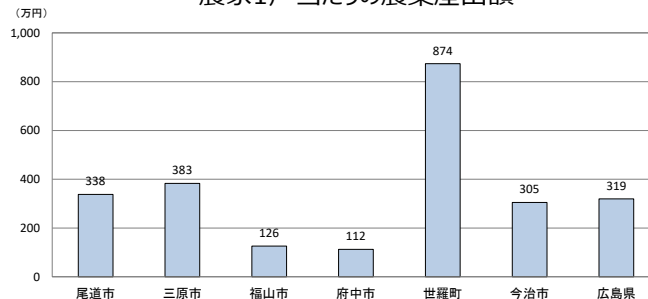
(資料) 農林水産省「農林業センサス」

周辺市町の農業産出額の推移

	2015年(H27)	2016年(H28)	2017年(H29)	2018年(H30)	2019年(R1)	2020年(R2)	2021年(R3)	2022年(R4)	2023年(R5)
尾道市	1,067	1,091	1,089	1,029	1,098	1,056	1,076	1,142	1,204
三原市	819	884	900	881	882	909	897	965	1,081
福山市	798	835	826	802	692	700	730	785	787
府中市	130	151	144	140	127	127	124	133	141
世羅町	1,308	1,374	1,375	1,294	1,112	1,162	1,196	1,290	1,483
今治市	1,211	1,289	1,220	1,182	1,091	1,098	1,145	1,133	1,223
広島県	11,640	12,380	12,370	11,870	11,680	11,900	12,130	12,890	14,480

(単位:千万円)

農家1戸当たりの農業産出額



(注) 農家数は、農林水産省「2020年農林業センサス」の数値を使用。

(資料) 農林水産省「市町村別農業産出額（推計）」

林業の現状

- 2015年（平成27年）における本市の林業経営体数（概数値）は26経営体で、その中で92.3%に相当する24経営体が一般的に小規模な家族経営体である。
- 本市の所有者別林野面積は、民有林が14,432haで、国有林（22ha）を大幅に上回っており、広島県や他の市町と比べても、民有林比率が高くなっている。

林業経営体の推移

	林業経営体数 (経営体)	うち家族経営体数 (経営体)	家族経営体構成比 (%)
2010年 (H22)	47	45	95.7
2015年 (H27)	26	24	92.3
2020年 (R2)	5	4	80.0

国有林・民有林別林野面積の推移

	国有林 (ha)	民有林 (ha)	合計 (ha)	民有林比率 (%)
2010年 (H22)	22	14,471	14,493	99.8
2015年 (H27)	23	14,455	14,478	99.8
2020年 (R2)	22	14,432	14,454	99.8

周辺市町の国有林・民有林別林野面積（2020年（令和2年））

	国有林 (ha)	民有林 (ha)	合計 (ha)	民有林比率 (%)
尾道市	22	14,432	14,454	99.8
三原市	3,552	28,122	31,674	88.8
福山市	3,511	22,732	26,243	86.6
府中市	1,765	13,242	15,007	88.2
世羅町	91	19,154	19,245	99.5
今治市	936	21,362	22,298	95.8
広島県	47,322	570,770	618,092	92.3

（資料）農林水産省「農林業センサス」

漁業の現状

- 2023年（令和5年）の漁業経営体数は206経営体で、広島県の10.6%を占めている。206経営体のうち、専業は64経営体、漁業が主の経営体は36経営体、漁業が従の経営体が106経営体となっている。
- 漁獲量は近年減少傾向で、2010年（平成22年）に1,071トンあった漁獲量は、2018年（平成30年）には530トンとなっている。

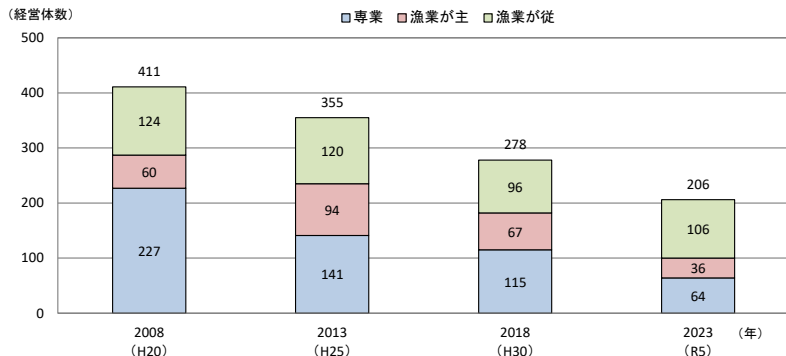
周辺市町の漁業経営体の状況

（単位：経営体）

	2008年 (H20)	2013年 (H25)	2018年 (H30)	2023年 (R5)
尾道市	411	355	278	206
三原市	69	55	45	34
福山市	367	331	308	237
府中市	-	-	-	-
世羅町	-	-	-	-
今治市	867	685	628	526
広島県	2,943	2,538	2,162	1,945

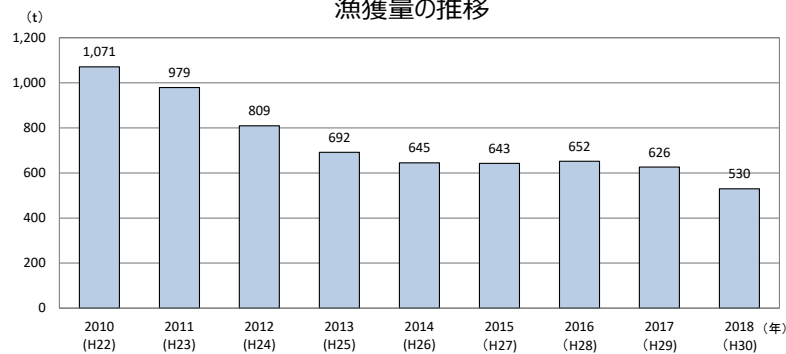
（資料）農林水産省「漁業センサス」

漁業経営体の推移



（資料）尾道市「統計おのみち」

漁獲量の推移



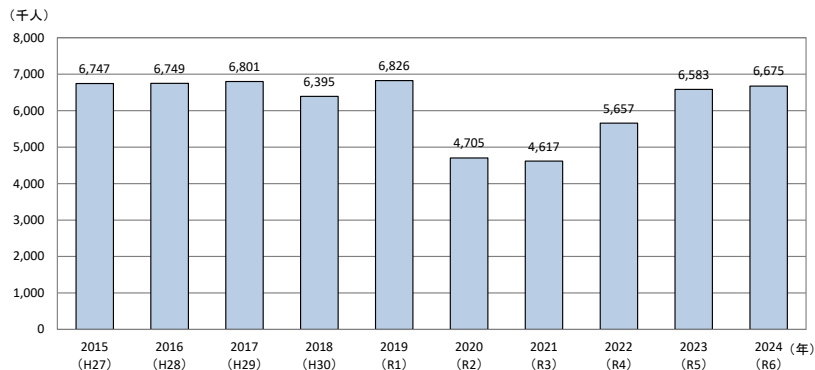
（注）2018年（平成30年）で市町村別統計は廃止。

（資料）尾道市「統計おのみち」

観光の現状

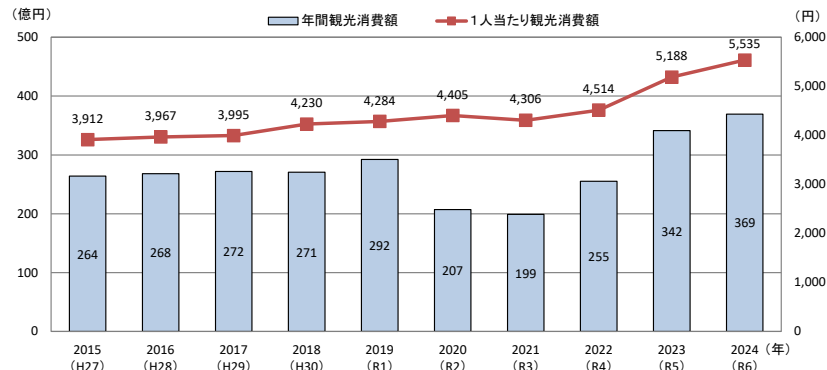
- 本市の観光客数は、2019年（令和元年）までは6,000千人台で推移してきたが、2020年（令和2年）から2021年（令和3年）にかけてコロナ禍の影響で大きく減少したものの、2022年（令和4年）以降は回復傾向。2024年（令和6年）には6,675千人となり、広島県の観光客数の10.3%を占めている。
- 年間観光消費額は概ね200億円を上回って推移している。
- 2024年（令和6年）は369億円で、広島県の年間観光消費額の6.2%を占めている。
- 1人当たり観光消費額は、2024年（令和6年）は5,535円で、増加傾向。広島県平均の9,141円を大きく下回っている。
- 2024年（令和6年）の日帰り観光客数は6,105千人、宿泊観光客数は570千人で、観光客の90%以上が日帰り観光となっている。

観光客数の推移



(資料) 広島県「広島県観光客数の動向について」

年間観光消費額・1人当たり観光消費額の推移



(資料) 広島県「広島県観光客数の動向について」

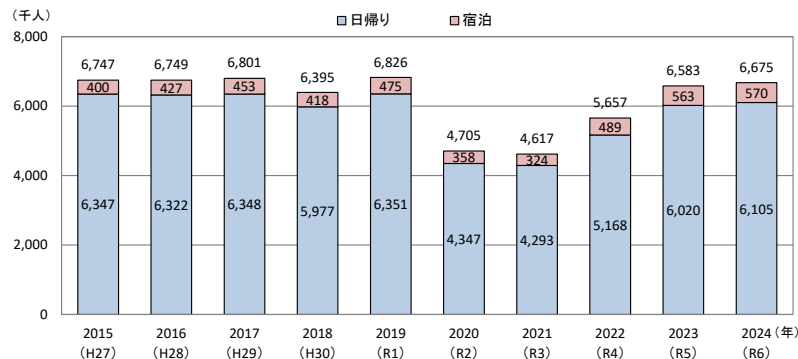
周辺市町の観光客数等（2024年（令和6年））

	観光客数		年間観光消費額		1人当たり観光消費額 (円)
	実数 (千人)	構成比 (%)	実数 (億円)	構成比 (%)	
尾道市	6,675	10.3	369	6.2	5,535
三原市	4,305	6.6	116	2.0	2,701
福山市	5,556	8.6	430	7.3	7,739
府中市	1,026	1.6	14	0.2	1,329
世羅町	2,352	3.6	25	0.4	1,065
広島県	64,739	100.0	5,918	100.0	9,141

(注) 今治市のデータがないため、広島県市町のみ。

(資料) 広島県「広島県観光客数の動向について」

日帰り・宿泊観光客数



(注) 日帰り観光客数は総観光客数から宿泊観光客数を引いたもので算出。

(資料) 広島県「広島県観光客数の動向について」

出発地別観光客数

- 2024年（令和6年）の県外観光客は3,784千人で、県内観光客は2,363千人、外国人観光客は528千人となっている。

出発地別観光客数（2024年（令和6年））

（単位：千人）

	観光客計 ①+②+③				②県外観光客	③外国人観光客
	①県内観光客		②県外観光客			
	市町内	その他市町				
尾道市	6,675	2,363	1,596	767	3,784	528
三原市	4,304	3,659	2,009	1,651	628	17
福山市	5,556	1,783	703	1,080	3,684	89
府中市	1,026	914	218	696	113	0
世羅町	2,352	1,855	403	1,452	492	3
広島県	64,739	31,668	12,612	19,056	28,856	4,215

（資料）広島県「広島県観光客数の動向について」

主要有料観光施設の観光客数（2024年（令和6年））

（単位：人/年）

市町村	主要有料観光施設名	観光客数
尾道市	千光寺山ロープウェイ	488,523
	尾道ふれあいの里	166,836
	圓鑄勝三彫刻美術館	3,908
	因島水軍城	29,876
	平山郁夫美術館	39,398
三原市	三景園	71,551
福山市	松永はきもの資料館	5,846
	福山城博物館	144,947
	ふくやま美術館	174,376
	広島県立歴史博物館	53,876
	福山市立動物園	214,612
	鞆の浦歴史民俗資料館	16,371
	福山自動車時計博物館	28,095
	ふくやま文学館	37,668
府中市	四季の里	12,174
世羅町	花の駅せら（世羅ゆり園）	24,299
今治市	タオル美術館	300,657
	かわら館	7,639
	来島海峡展望館	65,011
	サンライズ糸山	191,667
	野間馬ハイランド	56,514
	今治城	97,626
	いきいき館	111,972
	ローズ館	5,230
	亀老山展望公園	191,621
	村上海賊ミュージアム	67,741
	マリンオアシスはかた	112,164
	多々羅しまなみ公園	356,660
	しまなみの駅御島	174,151
	大三島美術館	3,269
	ところミュージアム	6,651
	玉川近代美術館	5,777

（資料）広島県「広島県観光客数の動向について」
愛媛県「令和6年観光客数とその消費額」

観光において注力すべき分野

- 観光分野においては、「サイクリング」、「ハイキング・登山、キャンプ」、「海水浴、釣り、潮干狩り」、「神社・仏閣」が伸びている。

尾道市への観光客の来訪目的

（単位：千人）

	都市観光		産業観光	自然探勝	ハイキング・登山、キャンプ	サイクリング	スキー	その他スポーツ
	博物館、美術館等	ショッピング、レストラン等						
2015年（H27）	175	1,917	217	920	147	157	-	151
2016年（H28）	197	1,885	209	907	145	185	-	149
2017年（H29）	200	1,896	202	868	151	204	-	155
2018年（H30）	151	2,151	191	738	130	189	-	143
2019年（R1）	197	1,953	194	864	142	217	-	144
2020年（R2）	133	2,247	156	570	102	120	-	96
2021年（R3）	94	2,242	158	515	97	189	-	87
2022年（R4）	155	2,384	187	769	128	168	-	120
2023年（R5）	156	1,989	227	902	197	214	-	175
2024年（R6）	154	2,075	231	879	192	224	-	175
	温泉	海水浴、釣り、潮干狩り	神社・仏閣	果物狩り、収穫体験	祭・行事	大規模公園、レジャー施設等	その他	計
2015年（H27）	383	368	382	22	1,560	50	298	6,747
2016年（H28）	402	370	392	22	1,609	-	277	6,749
2017年（H29）	428	379	409	23	1,619	-	267	6,801
2018年（H30）	408	338	404	21	1,286	2	243	6,395
2019年（R1）	445	377	471	23	1541	1	257	6,826
2020年（R2）	339	277	348	21	82	-	213	4,705
2021年（R3）	344	257	331	20	76	1	206	4,617
2022年（R4）	380	355	400	27	311	2	272	5,657
2023年（R5）	403	556	522	31	851	10	351	6,583
2024年（R6）	410	561	521	29	849	26	349	6,675

（注）数値は単位未満の端数処理を行っているため、表内の項目計や表間で一致しない場合がある。
2020年（令和2年）、2021年（令和3年）は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、推計の根拠となる基礎調査におけるサンプルが規定数に達していない中で推計であるため、数値については、項目により欠測となっている場合があるほか、誤差が大きくなっている可能性がある。
網掛けは、ピーク値。

（資料）広島県「広島県観光客数の動向について」

保育所・幼稚園数（各施設数、園児数）の状況

- 2024年（令和6年）における本市の保育所等数（保育所型認定こども園を含む。）は23か所で、保育所等児童定員数は1,887人。人口1万人当たりの保育所等数は1.8か所で、広島県平均（1.1か所）よりも多い。
- 2024年（令和6年）における本市の幼稚園数（幼稚園型認定こども園を含む。）は12園で、幼稚園園児数は487人。人口1万人当たりの幼稚園数は0.9か所で、広島県平均（0.7か所）よりも多い。
- 2024年（令和6年）における本市の幼保連携型認定こども園数は10園で、認定こども園園児数は1,199人。人口1万人当たりの認定こども園数は0.8か所で、広島県平均（0.6か所）よりも多い。

保育所等数の推移

	① 保育所等数 (所)	② 保育所等定員数 (人)	③ 保育所等1か所 当たり定員数 (人/所)	④ 人口1万人当 たり保育所等数 (所/万人)	⑤ 保育所入所 待機児童数 (人)
2015年(H27)	29	2,671	92	2.0	0
2016年(H28)	29	2,716	94	2.0	0
2017年(H29)	31	2,786	90	2.2	0
2018年(H30)	32	2,842	89	2.3	24
2019年(R1)	33	2,922	89	2.4	0
2020年(R2)	31	2,722	88	2.3	0
2021年(R3)	31	2,712	87	2.3	0
2022年(R4)	33	2,862	87	2.5	0
2023年(R5)	23	1,907	83	1.8	0
2024年(R6)	23	1,887	82	1.8	0

(注) ①の保育所等数は、2023年（R5）から幼保連携型認定こども園が調査対象外。
④の人口は、総務省「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数調査」

（資料）厚生労働省「社会福祉施設等調査」

広島県「保育所等の令和6年4月1日現在の待機児童数について」

幼稚園・認定こども園数の推移

	① 幼稚園数 (園)	② 幼稚園 園児数 (人)	③ 幼稚園1か 所当たり園 児数 (人/園)	④ 人口1万人 当たり幼稚園 園数 (園/万人)	⑤ 認定こども 園数 (園)	⑥ 認定こども 園園児数 (人)	⑦ 認定こども 園1か所当 たり園児数 (人/園)	⑧ 人口1万人 当たり認定こ ども園数 (園/万人)
2015年(H27)	24	1,184	49	1.7	4	526	132	0.3
2016年(H28)	23	1,067	46	1.6	5	687	137	0.4
2017年(H29)	20	980	49	1.4	5	682	136	0.4
2018年(H30)	20	975	49	1.4	7	858	123	0.5
2019年(R1)	16	855	53	1.2	9	1,099	122	0.7
2020年(R2)	14	778	56	1.0	11	1,358	123	0.8
2021年(R3)	14	668	48	1.0	11	1,421	129	0.8
2022年(R4)	13	566	44	1.0	10	1,300	130	0.8
2023年(R5)	13	517	40	1.0	10	1,251	125	0.8
2024年(R6)	12	487	41	0.9	10	1,199	120	0.8

(注) ④、⑧の人口は、総務省「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数調査」

（資料）文部科学省「学校基本調査」

保育所等の状況（2024年（令和6年））

	① 保育所等数 (所)	② 保育所等定員数 (人)	③ 保育所等1か所 当たり定員数 (人/所)	④ 人口1万人当 たり保育所等数 (所/万人)	⑤ 保育所入所 待機児童数 (人)
尾道市	23	1,887	82	1.8	0
三原市	12	1,012	84	1.4	0
福山市	65	6,436	99	1.4	0
府中市	9	1,190	132	2.5	0
世羅町	3	135	45	2.0	0
今治市	21	2,140	102	1.4	0
広島県	314	29,484	94	1.1	0

(注) ④の人口は、総務省「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数調査」

（資料）厚生労働省「令和5年社会福祉施設等調査」

広島県「保育所等の令和6年4月1日現在の待機児童数について」
愛媛県HP「愛媛県内の待機児童数について」

幼稚園・認定こども園数の状況（2024年（令和6年））

	① 幼稚園数 (園)	② 幼稚園 園児数 (人)	③ 幼稚園1か 所当たり 園児数 (人/園)	④ 人口1万人 当たり 幼稚園数 (園/万人)	⑤ 認定こども 園数 (園)	⑥ 認定こども 園園児数 (人)	⑦ 認定こども 園1か所当 たり園児数 (人/園)	⑧ 人口1万人 当たり 認定こども 園数 (園/万人)
尾道市	12	487	41	0.9	10	1,199	120	0.8
三原市	19	518	27	2.2	10	787	79	1.1
福山市	40	2,194	55	0.9	53	6,920	131	1.2
府中市	1	60	60	0.3	0	0	0	0.0
世羅町	0	0	0	0.0	3	276	92	2.0
今治市	9	723	80	0.6	11	1,207	110	0.7
広島県	200	15,029	75	0.7	176	21,265	121	0.6

(注) ④、⑧の人口は、総務省「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数調査」

（資料）文部科学省「学校基本調査」

小学校・中学校・高校（学校数・生徒数）の状況

- 2024年度（令和6年度）における本市の小学校数は24校、児童数は5,468人で、減少傾向にある。
- 2024年度（令和6年度）における本市の中学校数は16校、生徒数は2,853人で、減少傾向にある。
- 2024年度（令和6年度）における本市の高校数は8校、生徒数は2,636人で、減少傾向にある。

学校数・生徒数の推移

	小学校数 (校)	小学校 児童数 (人)	中学校数 (校)	中学校 生徒数 (人)	高校数 (校)	高校生徒数 (人)
2015年度 (H27)	27	6,620	16	3,367	8	3,117
2016年度 (H28)	27	6,450	16	3,344	8	3,128
2017年度 (H29)	24	6,481	16	3,240	8	3,091
2018年度 (H30)	24	6,451	16	3,109	8	3,109
2019年度 (R1)	24	6,306	16	2,974	8	3,102
2020年度 (R2)	24	6,251	16	2,929	8	3,049
2021年度 (R3)	24	6,054	16	2,983	8	2,870
2022年度 (R4)	24	5,956	16	2,914	8	2,764
2023年度 (R5)	24	5,714	16	2,926	8	2,751
2024年度 (R6)	24	5,468	16	2,853	8	2,636

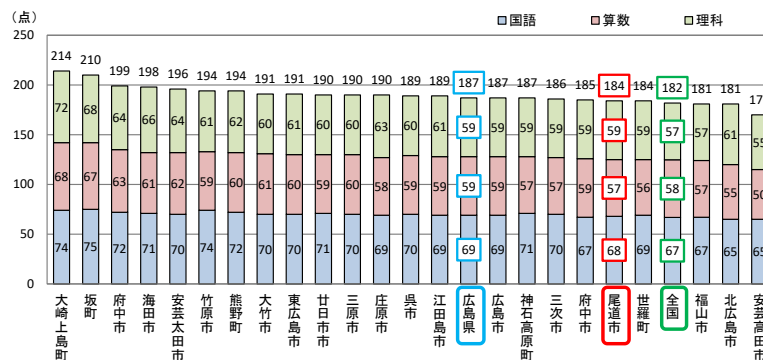
(資料) 文部科学省「学校基本調査」

学力の定着状況

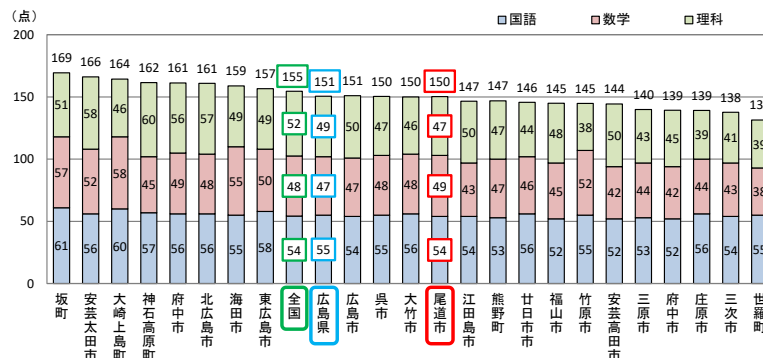
- 国が実施している「全国学力・学習状況調査」でみると、小学校の市町別平均正答率は、国語は全国平均をやや上回っているが、県平均をやや下回っている。算数は全国平均・県平均をやや下回っている。理科は県平均と同水準であるが、全国平均をやや上回っている。
- 中学校においては、国語は全国平均と同水準であるが、県平均をやや上回っている。数学は全国平均・県平均をやや上回っている。理科は全国平均・県平均をやや下回っている。

市町別平均正答率（令和7年度）

【小学校】



【中学校】



(資料) 広島県教育委員会HP「令和7年度全国学力・学習状況調査の結果について」

大学（学校数・学生数）の状況

- 2024年度（令和6年度）において、本市には大学1校（尾道市立大学）がある。
- 尾道市立大学は、経済情報学部・芸術文化学部の2学部、経済情報学科・日本文学科・美術学科の3学科を有し、学部学生数は1,388人、大学院生数は28人となっている。

周辺市町における大学等の学部・学科と学生数（2024年度（令和6年度））

大学	学部・学科	2024年（R6）
尾道市立大学	経済情報学部	931
	芸術文化学部	457
	（合計）	1,388
県立広島大学 （三原キャンパス）	保健福祉学部	779
	（合計）	779
福山市立大学	教育学部	422
	都市経営学部	658
	（合計）	1,080
福山大学	経済学部	907
	人間文化学部	617
	工学部	574
	生命工学部	618
	薬学部	618
	（合計）	3,334
福山平成大学	経営学部	191
	福祉健康学部	625
	看護学部	310
	（合計）	1,126
中国職業能力開発大学校附属 福山職業能力開発短期大学校	生産技術科	48
	電気エネルギー制御科	39
	電子情報技術科	50
	（合計）	137
5大学・1短期大学校合計		7,844

周辺市町の大学院の研究科と学生数（2024年度（令和6年度））

大学院	研究科	修士課程	博士課程	合計
尾道市立大学	経済情報研究科	5	—	5
	日本文学研究科	1	—	1
	美術研究科	22	—	22
	（合計）	28	0	28
県立広島大学 （三原キャンパス）	保健福祉学専攻	48	24	72
	（合計）	48	24	72
福山市立大学	教育学研究科	7	—	7
	都市経営学研究科	1	—	1
	（合計）	8	0	8
福山大学	経済学研究科	3	—	3
	人間科学研究科	12	—	12
	工学研究科	14	—	14
	薬学研究科	—	3	3
	（合計）	29	3	32
福山平成大学	経営学	—	—	0
	スポーツ健康科学	5	—	5
	看護学	5	—	5
	助産学専攻科	9	—	9
（合計）	19	0	19	
5大学合計		132	27	159

（注）博士課程欄が「—」の学科には、博士課程が設けられていない。

（資料）備後圏域連携協議会「第3期びんご圏域ビジョン（成長戦略2025）」

（資料）備後圏域連携協議会「第3期びんご圏域ビジョン（成長戦略2025）」

尾道市立大学の各学部の学生数の推移

学部・学科	2015年度 (H27)	2016年度 (H28)	2017年度 (H29)	2018年度 (H30)	2019年度 (R1)	2020年度 (R2)	2021年度 (R3)	2022年度 (R4)	2023年度 (R5)	2024年度 (R6)
経済情報学部	875	917	953	961	983	955	942	960	948	931
芸術文化学部	455	459	465	470	462	464	467	464	451	457
（合計）	1,330	1,376	1,418	1,431	1,445	1,419	1,409	1,424	1,399	1,388

（資料）尾道市立大学「在籍学生数」

文化施設の状況

- 2021年度（令和3年度）における本市の図書館数は5館で、広島県の図書館数の5.8%を占める。人口10万人当たりの図書館数は3.8館で、広島県の人口10万人当たりの図書館数（3.1館）を上回っている。
- 2021年度（令和3年度）における本市の博物館数は2館で、広島県の博物館数の6.7%を占める。人口10万人当たりの博物館数は1.5館で、広島県の人口10万人当たりの博物館数（1.1館）を上回っている。
- 2021年度（令和3年度）における本市の博物館類似施設数は7館で、広島県の博物館類似施設数の6.9%を占める。人口10万人当たりの博物館類似施設数は5.3館で、広島県の人口10万人当たりの博物館類似施設数（3.6館）を上回っている。

図書館・博物館等の状況（2021年度（令和3年度））

	図書館数 (館)	博物館数 (館)	博物館類似施設数 (施設)
尾道市	5	2	7
三原市	4	0	3
福山市	7	6	7
府中市	2	0	2
世羅町	3	0	3
今治市	4	7	11
広島県	86	30	101

（資料）文部科学省「令和3年度社会教育調査」

人口10万人当たりの図書館・博物館等の状況（2021年度（令和3年度））

	人口10万人当たり 図書館数 (館)	人口10万人当たり 博物館数 (館)	人口10万人当たり 博物館類似施設数 (施設)
尾道市	3.8	1.5	5.3
三原市	4.4	0.0	3.3
福山市	1.5	1.3	1.5
府中市	5.4	0.0	5.4
世羅町	19.4	0.0	19.4
今治市	2.6	4.6	7.2
広島県	3.1	1.1	3.6

（資料）文部科学省「令和3年度社会教育調査」

スポーツ施設の状況

- 2021年度（令和3年度）における本市の社会体育施設数は79施設で、広島県の社会体育施設数の7.6%を占める。人口1万人当たりの社会体育施設数は6.0施設で、広島県の人口1万人当たりの社会体育施設数（3.7施設）を上回っている。
- 本市の民間体育施設数は7施設で、広島県の民間体育施設数の1.2%を占める。人口1万人当たりの民間体育施設数は0.5施設で、広島県の人口1万人当たりの民間体育施設数（2.0施設）を下回っている。

スポーツ施設の状況（2021年度（令和3年度））

	社会体育施設数	人口1万人当たり 社会体育施設数	民間体育施設数	人口1万人当たり 民間体育施設数
尾道市	79	6.0	7	0.5
三原市	34	3.8	16	1.8
福山市	81	1.7	38	0.8
府中市	38	10.2	1	0.3
世羅町	41	26.5	3	1.9
今治市	87	5.7	3	0.2
広島県	1,039	3.7	569	2.0

（資料）文部科学省「令和3年度社会教育調査」

ごみの排出量・リサイクル率等

- 2023年度（令和5年度）における本市のごみの総排出量は49,401トン
- 1人1日当たりのごみの総排出量は1,048グラムで、広島県の1人1日当たりのごみの総排出量（834グラム）を上回っている。
- 種類別では、1人1日当たりの家庭系ごみの総排出量は652グラム（広島県：523グラム）、1人1日当たりの事業系ごみの総排出量は396グラム（広島県：312グラム）でいずれも県平均を上回っている。
- リサイクル率は12.7%で、広島県のリサイクル率（14.3%）を下回っている。

ごみの排出量・リサイクル率等

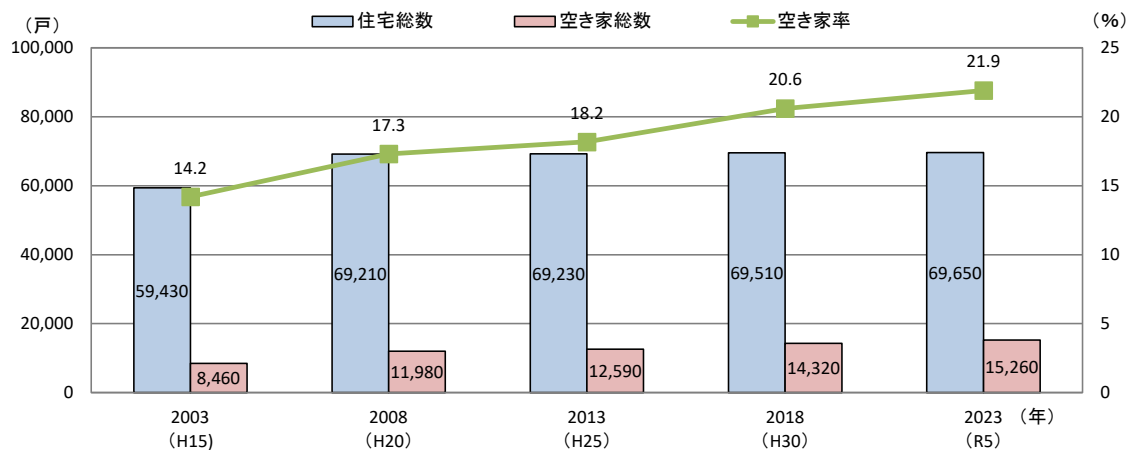
	ごみ総排出量	1人1日当たり の排出量	1人1日当たり の排出量		リサイクル率
	(t)		(g)	家庭系ごみ (g)	
尾道市	49,401	1,048	652	396	12.7
三原市	28,807	891	536	355	9.6
福山市	143,410	854	532	322	11.0
府中市	10,014	759	484	275	17.9
世羅町	3,592	656	408	248	11.2
今治市	51,880	944	609	335	9.3
広島県	841,356	834	523	312	14.3

（資料）環境省「令和5年度一般廃棄物処理実態調査都道府県別データごみ処理状況」

住宅総数、空き家数及び空き家率

- 2023年（令和5年）における本市の住宅総数（69,650戸）は、2003年（平成15年）の住宅総数（59,430戸）に比べて10,220戸増加した。
- 2023年（令和5年）における本市の空き家数（15,260戸）は、2003年（平成15年）の空き家数（8,460戸）に比べて6,800戸増加した。
- 2023年（令和5年）における本市の空き家率（21.9%）は、2003年（平成15年）の空き家率（14.2%）に比べて7.7ポイント上昇している。

住宅総数、空き家数及び空き家率の推移



(資料) 総務省「住宅・土地統計調査」

医療施設数（一般病院数、一般診療所数、歯科診療所数）

- 2024年（令和6年）における本市の一般病院数は10施設、一般診療所数は117施設で、ともに微減傾向。
- 本市の人口千人当たりの医療施設数は1.01施設となっており、周辺市町と比較すると、広島県平均と同水準となっている。
- 2024年（令和6年）における本市の歯科診療所数は62か所となっている。

医療施設数等の周辺市町比較（2024年（令和6年））

	一般病院数 (施設)	一般診療所数 (施設)	人口千人当たり 医療施設 (施設)
尾道市	10	117	1.00
三原市	7	61	0.78
福山市	35	342	0.83
府中市	3	32	1.00
世羅町	1	8	0.62
今治市	27	111	0.93
広島県	200	2,513	0.99

(注) 人口は、住民基本台帳を用いた。

(資料) 厚生労働省「医療施設（動態）調査」

歯科診療所数の推移

	2015年 (H27)	2016年 (H28)	2017年 (H29)	2018年 (H30)	2019年 (R1)	2020年 (R2)	2021年 (R3)	2022年 (R4)	2023年 (R5)	2024年 (R6)
尾道市	70	72	71	71	69	68	68	66	63	62
三原市	51	53	52	50	51	49	49	49	48	46
福山市	240	237	236	235	236	228	231	228	222	219
府中市	20	20	19	20	20	20	20	20	19	18
世羅町	5	5	5	5	5	5	5	5	4	5
今治市	89	89	87	87	84	82	83	82	82	83
広島県	1,558	1,566	1,566	1,548	1,546	1,527	1,518	1,502	1,476	1,469

(資料) 厚生労働省「医療施設調査」

医師数等

- 本市の医師数は、2018年（平成30年）以降は横ばいで推移しており、2022年（令和4年）には349人となっている。
- 人口10万人当たりの医師数は268.4人と増加している。
- 小児科医師数は17人で、人口10万人当たりの小児科医師数は13.1人で、周辺市町と比べると広島県平均を下回るものの、他の自治体よりも高くなっている。
- 産婦人科医師数は10人で人口10万人当たりでは7.7人と広島県平均を下回っている。

医師数・産婦人科医師数等の状況

(単位:人、人/10万人)

	医師数	産婦人科 医師数	小児科 医師数	人口10万人 当たり医師数	人口10万人 当たり産婦人 科医師数	人口10万人 当たり小児科 医師数
2012年 (H24)	353	13	22	241.9	8.9	15.1
2014年 (H26)	332	13	20	231.3	9.1	13.9
2016年 (H28)	337	12	20	238.8	8.5	14.2
2018年 (H30)	348	11	20	252.8	8.0	14.5
2020年 (R2)	352	11	17	262.1	8.2	12.7
2022年 (R4)	349	10	17	268.4	7.7	13.1

(注) 人口は、総務省「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数調査」を用いた。

(資料) 厚生労働省「医師・歯科医師・薬剤師調査」

医師数・産婦人科医師数等の状況（2022年（令和4年））

(単位:人、人/10万人)

	医師数	産婦人科 医師数	小児科 医師数	人口10万人 当たり医師数	人口10万人 当たり産婦人 科医師数	人口10万人 当たり小児科 医師数
尾道市	349	10	17	268.4	7.7	13.1
三原市	189	4	8	212.0	4.5	9.0
福山市	1049	42	55	227.7	9.1	11.9
府中市	59	-	1	161.4	0.0	2.7
世羅町	23	-	1	151.6	0.0	6.6
今治市	324	10	18	213.7	6.6	11.9
広島県	7525	243	370	271.6	8.8	13.4

(注) 人口は、総務省「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数調査」を用いた。

(資料) 厚生労働省「令和4年医師・歯科医師・薬剤師調査」³⁵

病床数

- 2024年（令和6年）における本市の病院・一般診療所の病床数は1,922床で、近年は減少傾向となっている。

病床数の推移

(単位:床)

	2015年 (H27)	2016年 (H28)	2017年 (H29)	2018年 (H30)	2019年 (R1)	2020年 (R2)	2021年 (R3)	2022年 (R4)	2023年 (R5)	2024年 (R6)
尾道市	2,093	2,093	2,053	2,053	2,053	2,034	2,008	2,008	1,969	1,922
三原市	2,469	2,450	2,322	2,315	2,215	2,147	2,109	2,028	2,028	2,003
福山市	6,432	6,400	6,365	6,336	6,198	6,191	6,152	6,040	5,981	5,869
府中市	598	598	598	597	582	582	582	582	582	582
世羅町	198	198	198	198	198	198	198	198	179	179
今治市	2,832	2,772	2,716	2,677	2,521	2,474	2,474	2,400	2,366	2,366
広島県	43,587	43,485	42,890	42,241	41,411	40,615	40,284	39,425	39,207	38,797

(注) 病院及び一般診療所の病床数の合計

(資料) 厚生労働省「医療施設調査」

拠点病院等の状況

- 本市では、厚生連尾道総合病院ががん診療連携拠点病院、一次脳卒中センター（PSC）、地域心臓いきいきセンター、災害拠点病院、三次救急医療機関、へき地医療拠点病院、地域周産期母子医療センター、小児救急医療拠点の指定を受けている。

尾道市周辺の拠点病院等の状況

二次保健医療圏	医療機関	がん診療連携拠点病院(県指定含む)	一次脳卒中センター(PSC)	地域心臓いきいきセンター	災害拠点病院	三次救急医療機関	へき地医療拠点病院	地域周産期母子医療センター	小児救急医療拠点
尾三	厚生連尾道総合病院	○	○	○	○	○	○	○	○
	尾道市立市民病院		○						
	公立みつぎ総合病院		○						
	三原赤十字病院				○				
	三原病院								
	興生総合病院			○		○			
福山・府中	福山市民病院	○	○	○	○	○	○	○	○
	国立病院機構 福山医療センター	○						○	
	日本鋼管福山病院				○				
	社会(医)陽正会寺岡記念病院		○						
	脳神経センター大田記念病院		○						
	府中市市民病院						○		

(資料) 広島県「第8次広島県保健医療計画」

救急医療体制

- 本市には、初期救急医療機関として1機関、二次救急医療機関として6機関、三次救急医療機関として1機関がある。

尾道市の救急医療体制

圏域	初期救急医療機関 休日夜間急患センター	二次救急医療機関 病院群輪番制参加病院	所在市町	三次救急医療機関 (全県)
尾三	三原市医師会休日夜間急患診療所 尾道市立夜間救急診療所	三原地区		
		社会医療法人里仁会 興生総合病院	三原市	
		医療法人清幸会 三原城町病院	三原市	
		総合病院 三原赤十字病院	三原市	
		医療法人仁康会 本郷中央病院	三原市	
		三原市医師会病院	三原市	
		尾道地区		
		J A 広島厚生連 尾道総合病院	尾道市	
		尾道市立市民病院	尾道市	
		医療法人社団啓明会 村上記念病院	尾道市	
		医療法人社団重松会 松本病院	尾道市	
		因島地区		
		因島医師会病院	尾道市	
御調世羅地区				
公立みつぎ総合病院	尾道市			
公立世羅中央病院	世羅町			
福山・府中	福山夜間小児診療所 福山市歯科医師会口腔保健センター 福山夜間成人診療所	福山地区		
		国立病院機構福山医療センター	福山市	広島市立広島市民病院 県立広島病院 広島六字病院 広島市立北部医療センター安佐市民病院 J A 広島厚生連 広島総合病院 国立病院機構 呉医療センター J A 広島厚生連 尾道総合病院 福山市民病院
		神原病院	福山市	
		公立学校共済組合 中国中央病院	福山市	
		脳神経センター大田記念病院	福山市	
		医療法人財団竹政会 セントラル病院	福山市	
		日本鋼管福山病院	福山市	
		医療法人叙叙会 福山第一病院	福山市	
		楠本病院	福山市	
		医療法人社団宏仁会 寺岡整形外科病院	福山市	
		沼隈病院	福山市	
		医療法人辰川会 山陽病院	福山市	
		医療法人三宅会 三宅会グッドライフ病院	福山市	
		医療法人社団杉原会 西福山病院	福山市	
		医療法人社団玄同会 小箱病院	福山市	
		医療法人信英会 島谷病院	福山市	
		医療法人財団竹政会 福山循環器病院	福山市	
		福山市民病院	福山市	
		医療法人社団健照会 住吉ふじい病院	福山市	
		医療法人社団尚志会 福山城西病院	福山市	
		水永リハビリテーション病院	福山市	
		医療法人慈慧会 亀川病院	福山市	
		医療法人紅朝会 福山記念病院	福山市	
		福山南病院	福山市	
		医療法人静慈会 コム・クリニック佐藤	福山市	
		中村整形外科	福山市	
		佐藤脳神経外科	福山市	
		松永脳外科クリニック	福山市	
		府中地区		
		寺岡記念病院	福山市	
		府中市市民病院	府中市	
		医療法人同仁会 府中中央内科病院	府中市	
		府中市市民病院	府中市	
神石高原町立病院	神石高原町			
なんば医院	府中市			

※原則、重症及び複数の診療科領域にわたるすべての重篤な救急患者を24時間体制で受け入れる三次救急医療機関として、知事が指定

(資料) 広島県「第8次広島県保健医療計画疾病」

介護保険の要介護（要支援）認定者の状況

- 2023年度（令和5年度）における本市の介護保険の要介護（要支援）認定者数は10,178人と近年は微減傾向で推移。
- 65歳以上人口に占める介護保険の要介護（要支援）認定者数の割合は21.4%で、広島県の65歳以上人口に占める介護保険の要介護（要支援）認定者数の割合（19.7%）を上回っている。

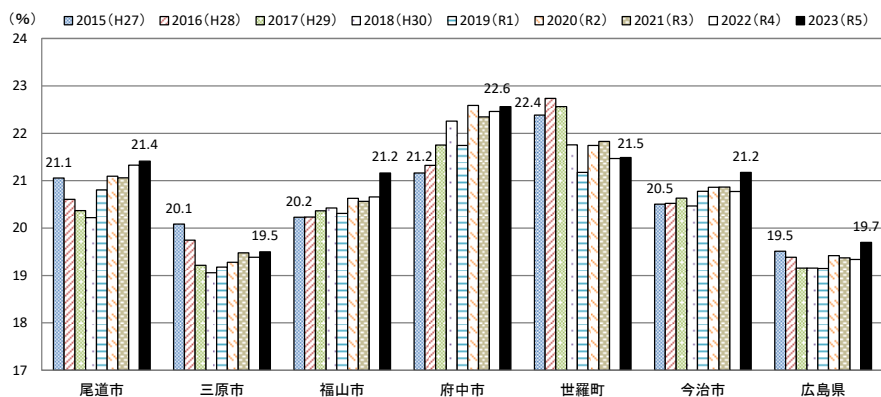
介護保険の要介護（要支援）認定者数（65歳以上）の推移

(単位：人、%)

	2015年度(H27)	2016年度(H28)	2017年度(H29)	2018年度(H30)	2019年度(R1)	2020年度(R2)	2021年度(R3)	2022年度(R4)	2023年度(R5)	2015年度→2023年度(増減率)
尾道市	10,134	9,993	9,897	9,846	10,123	10,237	10,192	10,223	10,178	0.4
三原市	6,323	6,289	6,162	6,140	6,185	6,230	6,289	6,194	6,199	-2.0
福山市	25,143	25,725	26,288	26,757	26,849	27,520	27,594	27,694	28,419	13.0
府中市	3,011	3,062	3,130	3,203	3,124	3,239	3,184	3,159	3,138	4.2
世羅町	1,485	1,506	1,493	1,438	1,385	1,418	1,414	1,376	1,363	-8.2
今治市	11,038	11,189	11,322	11,243	11,407	11,435	11,405	11,247	11,379	3.1
広島県	152,332	154,017	153,972	155,442	156,315	159,616	159,850	159,186	162,054	6.4

(資料) 厚生労働省「介護保険事業状況報告」

65歳以上人口に占める要介護（要支援）認定者数の割合の推移



(資料) 厚生労働省「介護保険事業状況報告」、
総務省「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数」

介護老人福祉施設の状況

- 2023年（令和5年）における本市の介護老人福祉施設数は11施設で、広島県の介護老人福祉施設数の5.6%を占める。
- 介護老人福祉施設定員は654人で、広島県の介護老人福祉施設定員の5.3%を占める。

介護老人福祉施設の状況

	2015年(H27)	2016年(H28)	2017年(H29)	2018年(H30)	2019年(R1)	2020年(R2)	2021年(R3)	2022年(R4)	2023年(R5)
尾道市	施設数(施設)	11	10	11	11	11	11	11	11
	施設定員(人)	674	642	654	654	654	654	654	654
三原市	施設数(施設)	4	6	6	6	6	6	7	7
	施設定員(人)	264	378	388	398	402	402	420	420
福山市	施設数(施設)	23	23	22	23	23	23	23	23
	施設定員(人)	1,354	1,344	1,294	1,344	1,361	1,424	1,441	1,498
府中市	施設数(施設)	5	5	5	5	5	5	5	5
	施設定員(人)	235	235	235	235	235	235	235	235
世羅町	施設数(施設)	2	2	2	2	2	2	2	2
	施設定員(人)	124	124	124	124	124	124	124	134
今治市	施設数(施設)	13	12	12	14	14	14	14	14
	施設定員(人)	673	623	618	723	729	735	742	742
広島県	施設数(施設)	164	166	166	189	188	188	192	196
	施設定員(人)	10,067	10,120	10,173	11,700	11,656	11,749	11,965	12,132

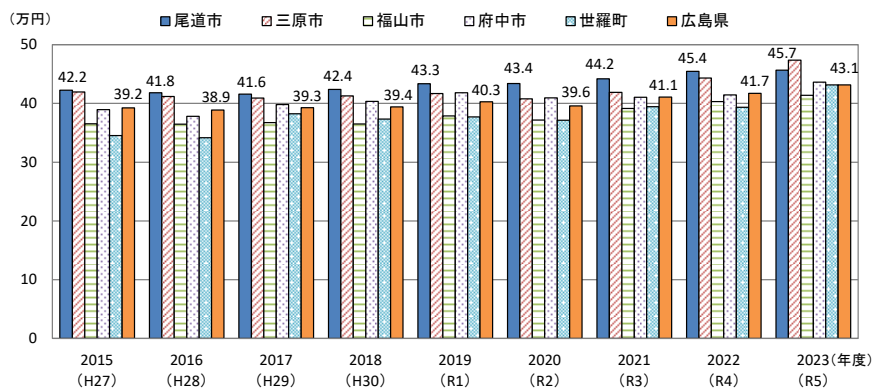
(注) 調査方法の変更等による回収率変動の影響を受けているため、数量を示す施設数等の実数は前年以前と単純に年次比較できない。

(資料) 厚生労働省「介護サービス施設・事業所調査」

一人当たり国民健康保険医療費の現状

- 一人当たり国民健康保険医療費は40万円以上で推移しており、2023年度（令和5年度）は45.7万円となっている。
- 広島県及び近隣市町と比較すると、本市は三原市とほぼ同水準で推移しており、広島県平均を上回り、福山市、府中市、世羅町と比較しても高水準となっている。

一人当たり国民健康保険医療費の推移

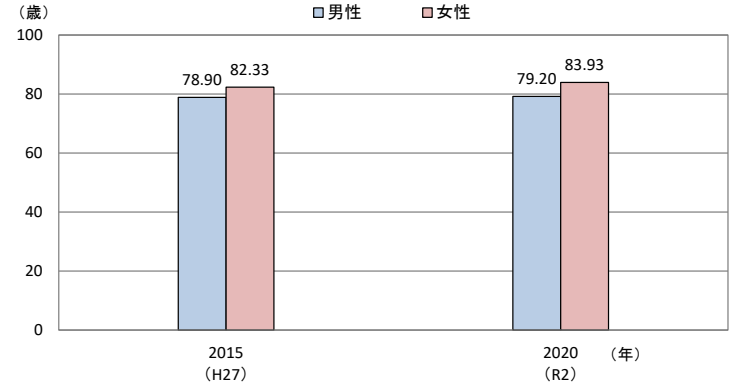


(資料) 広島県「国民健康保険の現況等」

健康寿命と平均寿命の状況

- 2020年（令和2年）における本市の健康寿命は、男性で79.20年、女性で83.93歳で、男女とも延伸している。
- 2020年（令和2年）における本市の平均寿命は、男性で81.1年、女性で87.9歳で、男女とも延伸している。

健康寿命の推移



(資料) 尾道市「第三次健康おのみち21計画・第四次尾道市食育推進計画」

がん検診の受診状況

- 本市のがん検診受診率は、胃がん検診は2019年度（令和1年度）以降は減少。
- 大腸がん検診は2021年度（令和3年度）以降は横ばい。
- 子宮がん検診は概ね横ばい。
- 乳がん検診は2022年度（令和4年度）以降は微増。

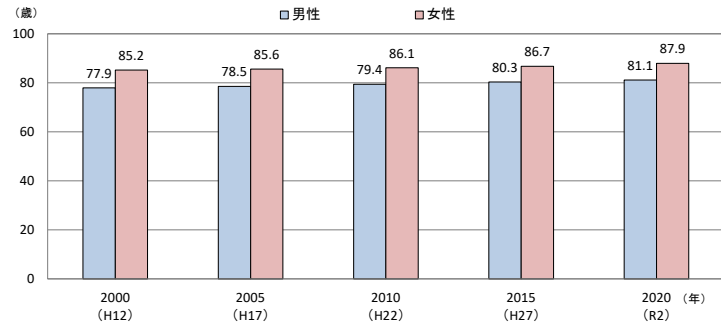
がん検診受診率の推移

(単位：%)

	2015年度 (H27)	2016年度 (H28)	2017年度 (H29)	2018年度 (H30)	2019年度 (R1)	2020年度 (R2)	2021年度 (R3)	2022年度 (R4)	2023年度 (R5)
尾道市	胃がん	4.1	9.9	12.4	12.2	12.0	10.4	9.3	9.8
	肺がん	7.3	7.8	7.2	7.4	7.0	5.2	6.1	4.3
	大腸がん	10.1	9.6	8.8	9.3	8.5	6.5	7.5	7.4
	子宮がん	14.9	17.0	15.3	16.4	17.9	16.4	16.1	17.1
	乳がん	16.0	17.9	16.2	16.6	17.8	16.6	16.4	18.1

(資料) 厚生労働省「地域保健・健康増進事業報告」

平均寿命の推移



(資料) 厚生労働省「市区町村別生命表」